

第6章 設定ユーティリティーの使用方法

この章では、LANカード・オプションの動作環境を設定するためのユーティリティーの使用方法について説明します。

LANカード・オプションを設定するために使用するユーティリティーは、LANカード・オプション付属の「サポートCD」に含まれています。「サポートCD」をCD-ROMトレイに挿入すると自動的にAutorunが起動しますので、メニューからLANカード・オプションを指定して順次メニューの指示に従ってインストールや設定を行ってください。なお、本マニュアル内には、ユーティリティー毎にプログラムが含まれているフォルダ名を記載していますので、必要に応じて参照願います。

【ご注意】「サポートCD」に同梱されているユーティリティーは、改良のために予告無く変更することがあります。

LANカード・オプションの動作環境の設定は以下のユーティリティーで行えます。

1. Setup Wizard(LANカード・オプション付属のセットアップウィザード)
2. ブラウザ (Netscape など)
3. telnet (UNIX 標準コマンド)

【ご注意】ブラウザやtelnetでご使用になる場合は、予めLANカード・オプションにIPアドレスを設定しておく必要があります。

【MEMO】Windows95/98/NT/2000、OS/2でもDOSプロンプトからtelnetが使用できます。

4. IP_SET (LANカード・オプションに付属のIPアドレス設定ユーティリティー)

これらの設定ユーティリティーを使用することによって次の設定が行えます。

TCP/IP の設定

IPアドレス、サブネットマスク、デフォルト・ゲートウェイ、RARP、BOOTP、DHCP、ARP+PING、SNMPの設定が行えます。TCP/IP環境での設定については「第3章 TCP/IP」をご覧ください。

NetWare の設定

プリントサーバー名、プリンタポート名、社別識別子、デフォルトサーバー、デフォルト・イーサネット・フレームタイプ等の設定が行えます。

NetWare環境での設定については「第4章 NetWare」をご覧ください。

LANManager の設定

ホスト名、ドメイン名、タイムサーバー名、プロトコル選択(TCP/IP, NetBEUI)、WINS、WINS SERVER IP ADDRESSの設定が行えます。LANManagerの設定については、「第5章 LANManager」

をご覧ください。

Hardware の設定

SUPPORT PARALLEL MODE、PARARELL PORT SPEED、BOOT DELAY、JETADMIN の設定が行えます。

その他

LAN カード・オプション本体内蔵の FLASH ROM と BOOT ROM のファームウェア・バージョン情報の表示、エラー情報表示 / クリア、LAN カード・オプション本体のハードウェアリセット、バージョンアップ等の操作が行えます。

設定ユーティリティー動作環境 表 6 - 1

	使用環境 (OS)	条件・備考
Telnet	UNIX WS Windows95/98/NT3.51/NT4.0/2000 Windows3.1+TCP/IP OS/2	TCP/IP プロトコルが使用できる環境が必要
SetupWizard	Windows95/98/NT4.0 【ご注意】WindowsNT3.51 には対応していません。	TCP/IP プロトコルが使用できる Windows 環境もしくは NetWare クライアントが動作する Windows 環境

第6章 設定ユーティリティーの使用方法

LANカード・オプションの工場出荷時の設定は以下の通りになります。

表6-2

メニュー	サブメニュー	工場出荷設定値	設定有効 タイミング
TCP/IP	IP ADDRESS SUBNET MASK DEFAULT ROUTER	100.100.100.100 0.0.0.0 0.0.0.0	ARP+PING, IP_S ET は設定直後 有効,その他は RESET 後有効
	RARP BOOTP DHCP ARP+PING SNMP	Enabled disabled disabled Enabled public,public,public	SNMP は設定直 後有効,その他 はRESET 後有効
NetWare	NetWare MODE NDS TREENAME NDS CONTEXT NAME NetWare PRINT SERVER NetWareFILE SERVER PRINT SERVER NAME LPT1 PORT NAME LPT1 COMPANY CODE DEFAULT FRAME TYPE ENABLE/DISABLE	StandbyMode Not Set Not Set None None Lxxxxxxx Lxxxxxxx-P1 NOT SET Auto Enabled	RESET 後有効
LANManager	HOST NAME WORKGROUP NAME TIME SERVER NAME PROTOCOL WINS WINS SERVER IP ADDRESS ENABLE/DISABLE	Lxxxxxxx NOT SET NOT SET NetBEUI Disable 255.255.255.255 Enabled	RESET 後有効
PASSWORD		pass (半角小文字)	設定直後有効
Hardware	ETHERNET MODE	AUTO(Half Duplex)	RESET 後に有効
	PARALLEL PORT SPEED	Normal	
	BOOT DELAY	0 sec	電源再投入後
	JETADMIN	disabled	RESET 後有効
	SUPPORT PARALLEL MODE	AUTO	電源再投入後
	ERROR STATUS	0x40 0x41 0x42 0x43 0x44 0x45	FF FF FF FF FF FF

6.1. ブラウザ

ブラウザを起動し、接続先のアドレスに LAN カード・オプションに設定した IP アドレスを入力して接続します。

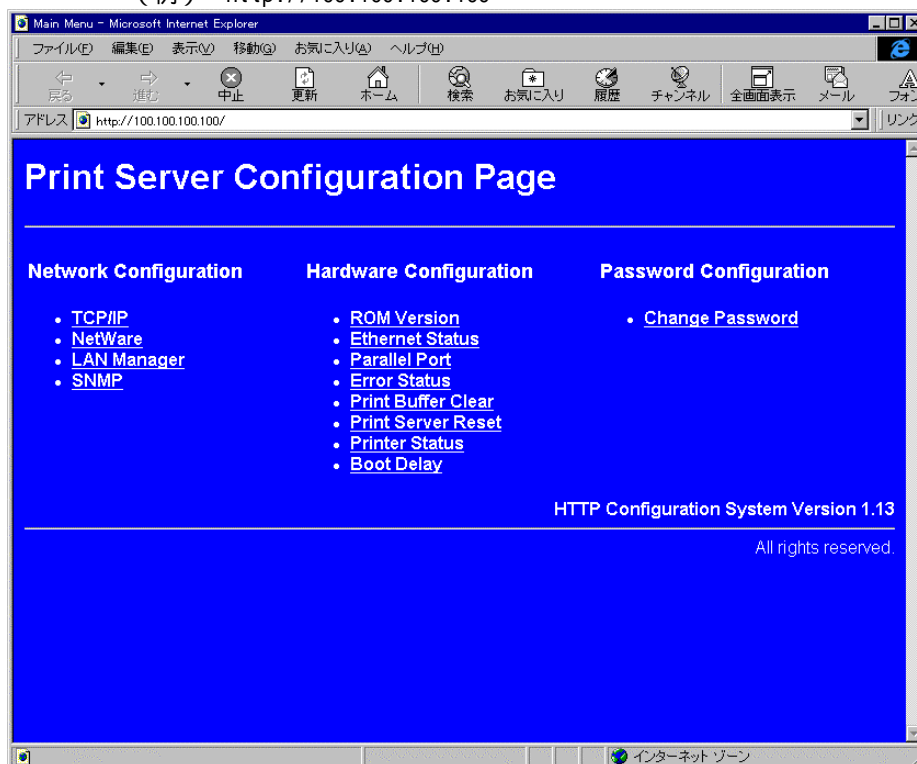
【ご注意】対応ブラウザ

Netscape Navigator 3.0 以降 / インターネットエクスプローラ 3.0 以降

【ご注意】ブラウザでご使用になる場合は、予め LAN カード・オプションに IP アドレスを設定しておく必要があります。

ネットワーク上に、入力した IP アドレスを持つ LAN カード・オプションが存在している場合、次のような画面が表示されます。

(例) <http://100.100.100.100>



この画面では Network Configuration、Hardware Configuration、Password Configuration を行うことができます。

1) NetWork Configuration :

TCP/IP / NetWare / LANManager / SNMP で LAN カード・オプションを使用する場合の設定の確認と変更を行います。

確認や変更を行いたいプロトコルをクリックします。

TCP/IP :

TCP/IP で通信するために必要な IP アドレスなどの設定値を確認および変更する場合にクリックします。

NetWare :

NetWare (IPX/SPX) で通信するために必要なプリントサーバー名などの設定値を確認および変更する場合にクリックします。

LANManager :

LANManager で通信するために必要な下位層プロトコル (TCP/IP、NetBEUI) の設定値を確認および変更する場合にクリックします。

SNMP :

SNMP で通信するために必要なコミュニティ名の設定値を確認及び変更する場合にクリックします。

2) HardWare Configuration :

LAN カード・オプションの Hardware に関する設定の確認と変更を行います。

ROM Version :

LAN カード・オプションの現在インストールされているプログラムのバージョンを確認できます。

Ethernet Status :

LAN カード・オプションのイーサネットアドレス (MAC アドレス) を確認できます。

Parallel Port :

LAN カード・オプションの電源 ON 時に、接続されているプリンターとのネゴシエーションを行うためのモードの設定変更ができます。

【ご注意】 AUTO, ECP, NIBBLE MODE を使用する場合は、必ずプリンターの電源を入れ直してください。

また、ECP・NIBBLE MODE 固定の場合はプリンターがサポートしていない場合又は設定が一致していない場合はネゴシエーションエラーとなり印刷できません。

LAN カード・オプションの平行ポートの現在のモードの確認とスピード設定の変更ができます。

【ご注意】 スピード設定 (Normal / Fast) の変更は、ECP モード時以外は有効です。

Error Status :

LAN カード・オプションに過去に発生したエラーの履歴を確認することができます。

Print Buffer Clear :

LAN カード・オプションのバッファ内のデータを削除します。

Print Server Reset :

LAN カード・オプションの電源リセットを行います。

Printer Status :

LAN カード・オプションの現在のステータスを表示します。

Boot Delay :

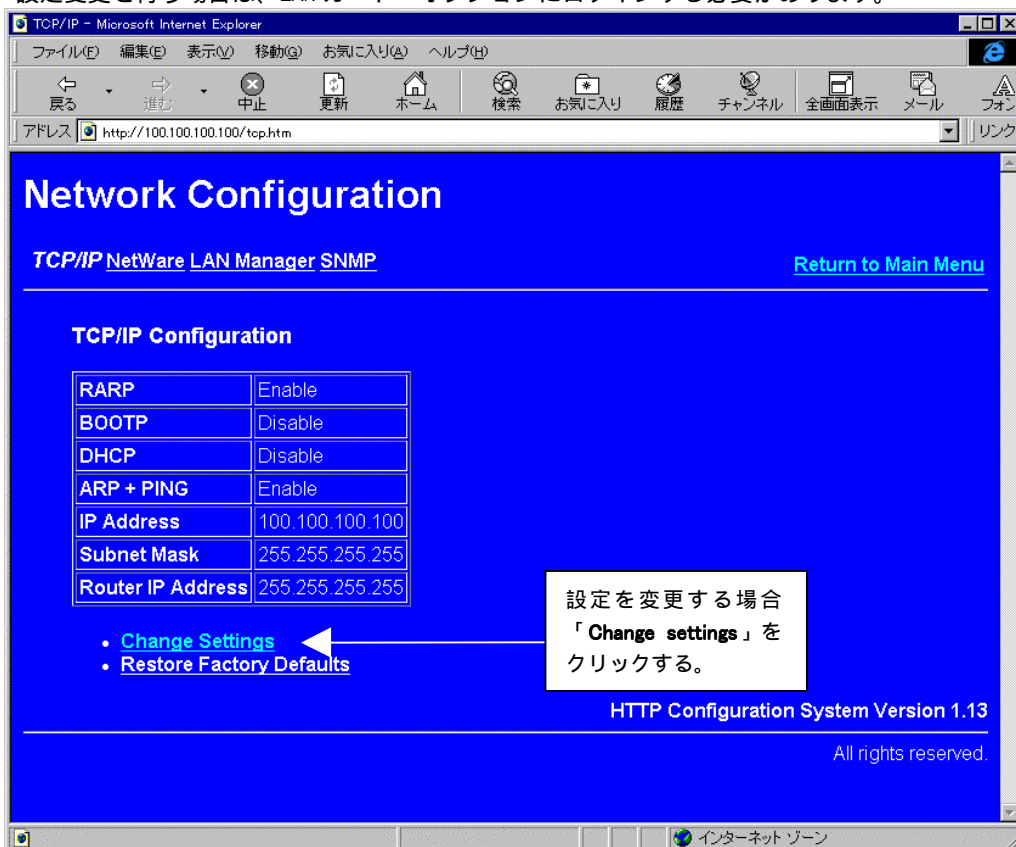
LAN カード・オプションの起動時の遅延時間の確認と変更を行います。

3) Password Configuration :

TCP/IP で LAN カード・オプションにログインする時の Password の変更を行います。

6.1.1. 設定を変更する場合

設定変更を行う場合は、LAN カード・オプションにログインする必要があります。



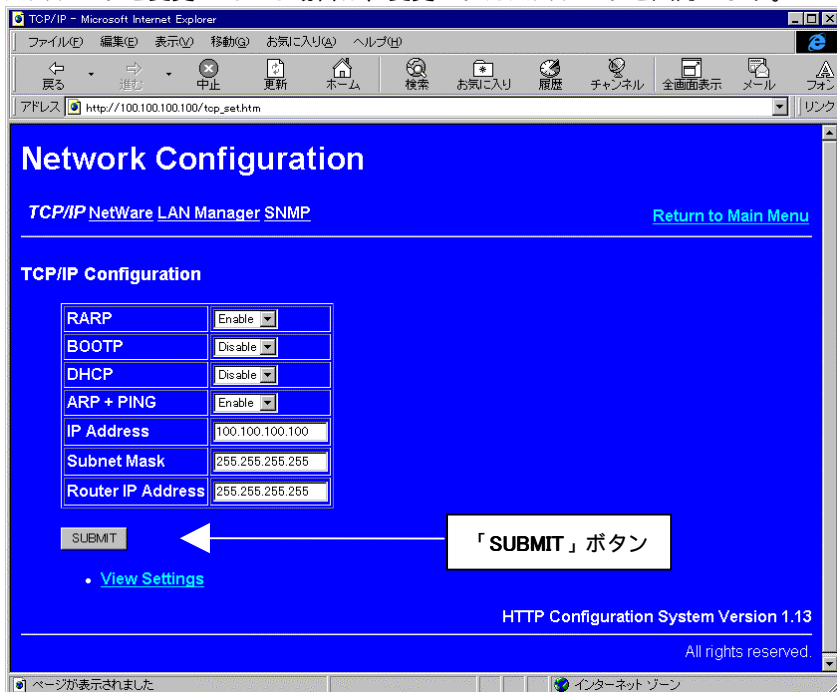
【ご注意】ここでは、TCP/IP を例として取り上げています。

各項目で「**Change Settings**」をクリックした場合に、次の様な画面が表示されます。



ユーザー名は、任意の文字を入力します。(入力しなくてもOKです) パスワードは、先の Password Configuration で変更していない場合は、半角小文字で「pass」を入力します。

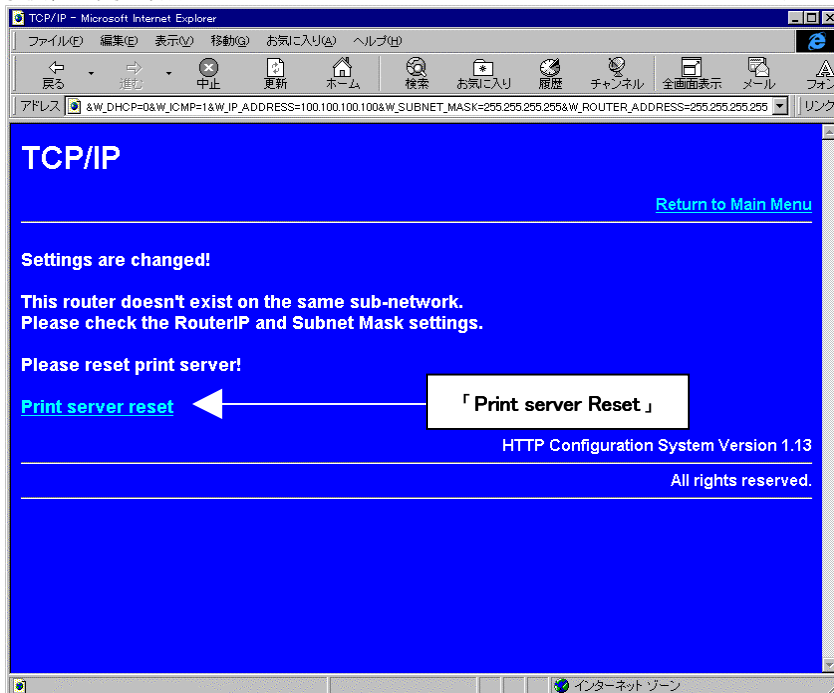
パスワードを変更している場合は、変更されたパスワードを入力します。



パスワード入力を終わると、次の様な設定を変更できる画面に移ります。

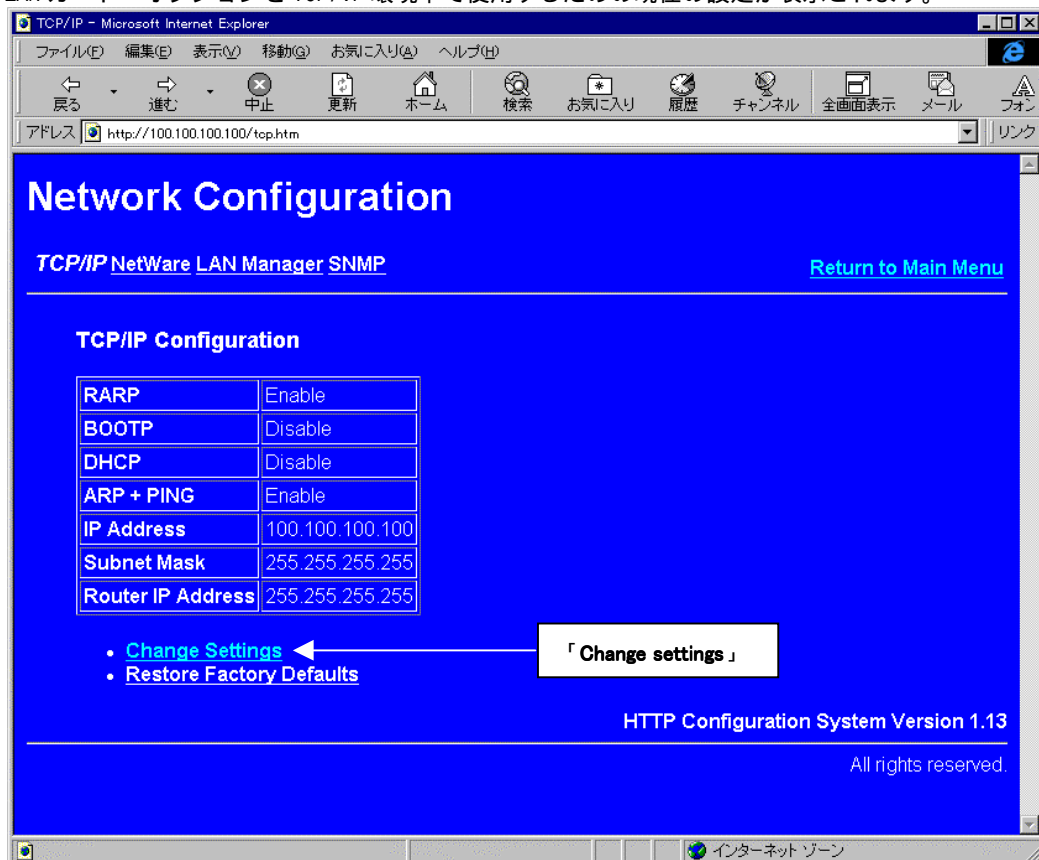
設定を変更し、正しければ「SUBMIT」ボタンをクリックします。

設定終了後、変更を有効にするために「Print server reset」をクリックしてください。



6.1.2. TCP/IP

LAN カード・オプションを TCP/IP 環境下で使用するための現在の設定が表示されます。



Change Settings :

LAN カード・オプションの TCP/IP 環境の設定を変更することができます。

項目	内容
RARP	ご使用になる環境に合わせて使用する / しないを選択します。 (Enable/Disable)
BOOTP	ご使用になる環境に合わせて使用する / しないを選択します。 (Enable/Disable)
DHCP	ご使用になる環境に合わせて使用する / しないを選択します。 (Enable/Disable)
ARP + PING	ARP + PING による IP アドレスの変更の有効 / 無効を選択します。 (Enable/Disable)
IP Address	LAN カード・オプションに割り当てる IP アドレスを入力します。
Subnet Mask	ご使用になる環境にサブネットマスクが設定されている場合は、同一のマスクを入力する必要があります。
Router IP Address	ご使用になる環境にルータが存在する場合には、ルータの IP アドレスを入力する必要があります。
SUBMIT	データ入力終了後、クリックします。

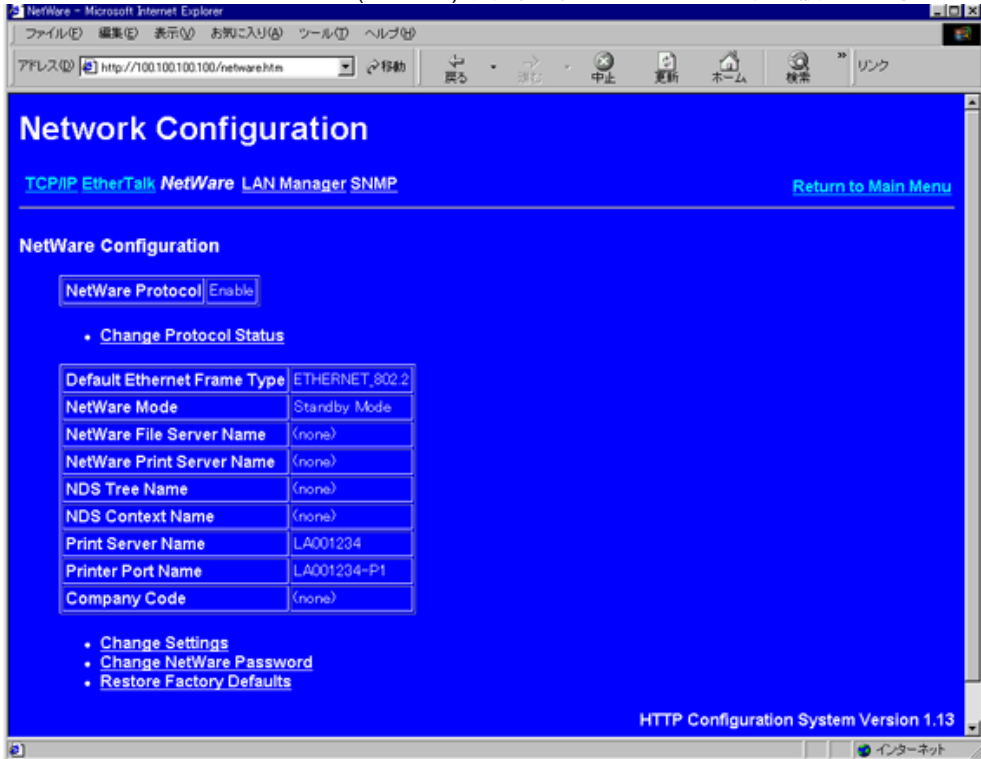
Restore Factory Default :

LAN カード・オプションの TCP/IP 環境の設定を工場出荷時に戻します。

【ご注意】IP アドレスのみ、現在の設定が有効ですので IP アドレスも工場出荷時にする場合は手
入力で IP アドレスを 100.100.100.100 に変更する必要があります。

6.1.3. NetWare

LAN カード・オプションを NetWare(IPX/SPX)環境下で使用するための現在の設定が表示されます。



Change Protocol Status:

NetWare の環境下で LAN カード・オプションを使用する / しないを設定できます。
(Enable/Disable)

【ご注意】 デフォルトでは NetWare を使用する設定になっています。NetWare を使用しない場合は、ネットワーク上に無駄なパケットを送信しないように、Disable にすることをお勧めします。

Change Settings:

LAN カード・オプションの NetWare 環境の設定を変更することができます。

項目	内容
Default Ethernet Frame Type	LAN カード・オプションを使用するネットワークのイーサネットフレームタイプを設定できます。
NetWare Mode	LAN カード・オプションの Print Server Mode / Remote Printer Mode / NDS Print Server Mode / Standby Mode が設定できます。
NetWare File Server Name	NetWare Mode を Print Server Mode で使用する場合は

	File Server Name を設定できます。
NetWare Print Server Name	Remote Printer Mode で起動するプリントサーバー名を設定できます
NDS Tree Name	NDS プリントサーバーモードでログインするツリー名を設定できます
NDS Contexte Name	NDS プリントサーバーモードでプリントサーバーを登録するコンテキスト名を設定できます
Print Server Name	NDS プリントサーバーモード：ツリーにログインするためのプリントサーバー名、バインダリプリントサーバーモード：NetWare ファイルサーバーへログインするためのプリントサーバー名 を設定できます。
Printer Port Name	LAN カード・オプションの平行ポート名を設定できます。
Company Code	NetWare3.1xJ での社別識別子 (NetWare4.1X 以降では無効) を選択します。
SUBMIT	データ入力終了後、クリックします。

Change NetWare Password:

LAN カード・オプションが NetWare ファイルサーバーにログインするために使用するパスワードを設定できます。

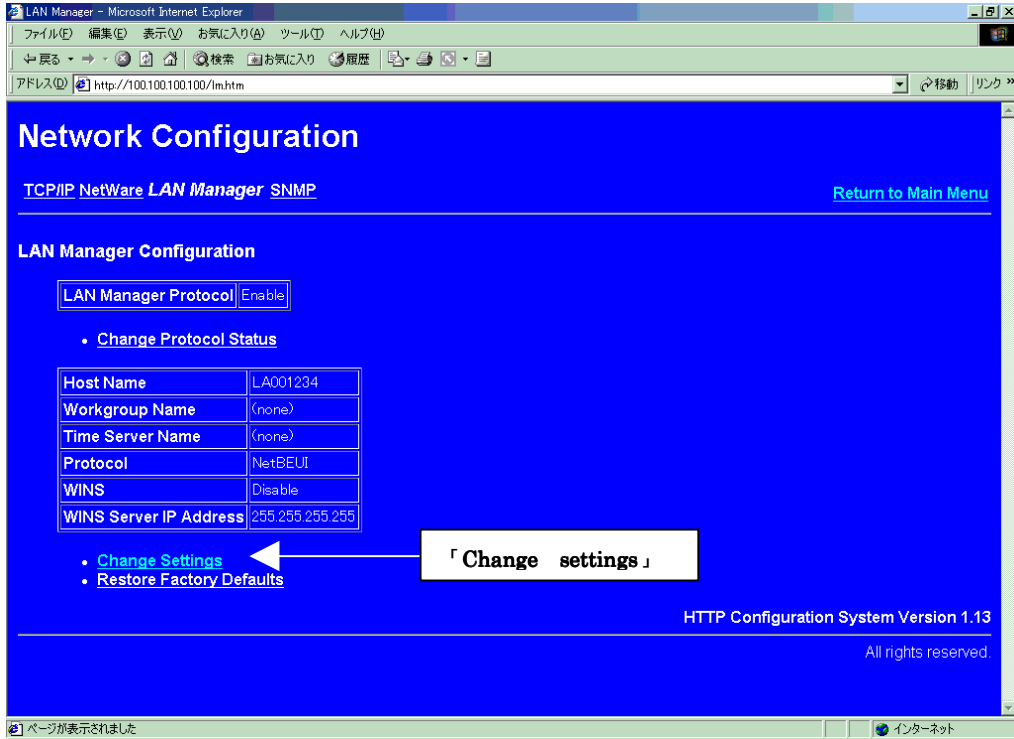
【ご注意】 プリントサーバーモード・NDS プリントサーバーモード時のみ有効です。

Restore Factory Defaults:

LAN カード・オプションの NetWare 設定を工場出荷時に戻します。

6.1.4. LANManager

LAN カード・オプションを LANManager の環境下で使用するための現在の設定が表示されます。



Change Protocol Status:

LANManager の環境下で LAN カード・オプションを使用する / しないを設定できます。
(Enable/Disable)

【ご注意】 デフォルトでは LANManager を使用する設定になっています。LANManager を使用しない場合はネットワーク上に無駄なパケットを送信しないように、Disable にすることをお勧めします。

Change Settings:

LAN カード・オプションの LANManager 設定を変更することができます。

項目	内容
Host Name	ネットワークで本体を識別するホスト名を設定できます。他の機器と同じ名前を使用することはできません。必ず固有の名前を指定してください。(半角英数字最大 15 文字以内)
Work group Name	LAN カード・オプションが属するドメイン名を設定できます。Windows95/98/NT でドメイン管理をしている場合は、使用するドメイン名またはワークグループ名を指定してください。(半角英数字最大 15 文字以内)
Time Server Name	LAN カード・オプションに設定したドメインのドメインコントローラ

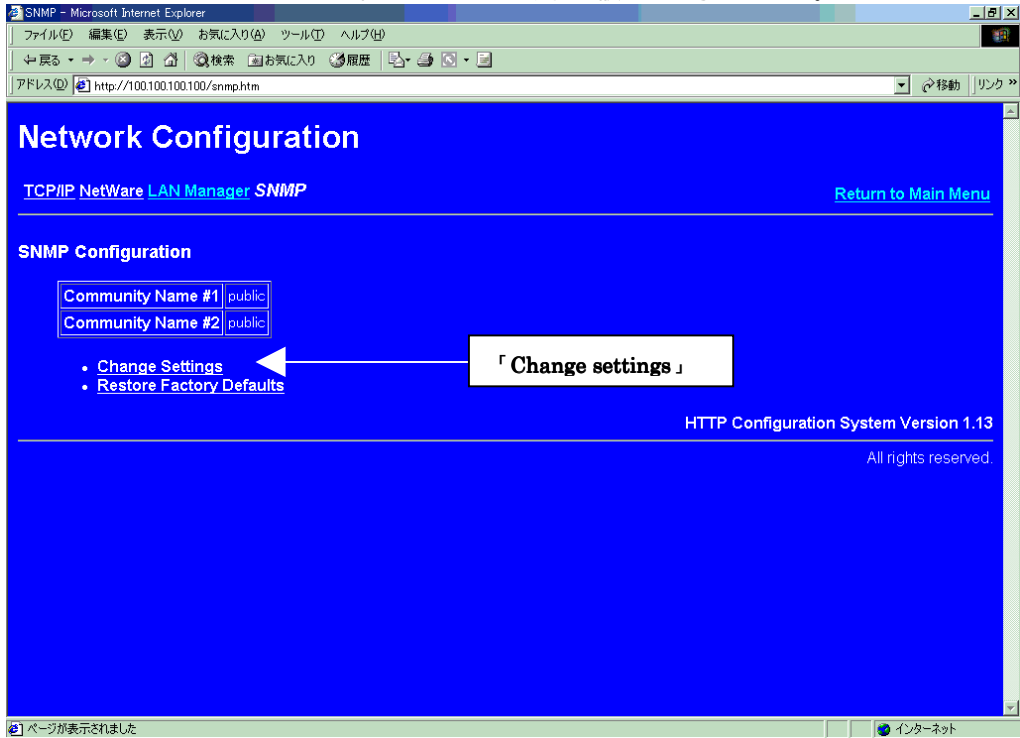
	ーを指定します。タイムサーバー名を指定しなくても印刷には影響ありませんが、プリントジョブ情報の時間が正しく表示されません。WindowsNT Server を使用していない場合やドメインの設定をしていない場合、この値は無効です。
Protocol	ご使用になる LANManager のベースとなるプロトコルを TCP/IP、NetBEUI のいずれかから選択します。
WINS	WINS サーバーが存在するネットワーク環境で、WINS の解決をする / しないを設定できます。(Enable/Disable) この場合は、LANManager は下位プロトコルに TCP/IP を設定する必要があります。
WINS SERVER IP address	WINS を使用する場合には、WINS サーバーの IP アドレスを設定する必要があります。 【ご注意】DHCP を使用して WINS サーバーの IP アドレスを取得する場合は設定する必要はありません。(この場合には、DHCP を有効にする必要があります)ただし、DHCP が有効であるにもかかわらず、WINS サーバーの IP アドレスを取得できない場合があります。この場合は、WINS サーバーの IP アドレスを直接設定する必要があります。
SUBMIT	データ入力終了後、クリックします。

Restore Factory Defaults:

LAN カード・オプションの LANManager 環境の設定を工場出荷時に戻します。

6.1.5. SNMP

LAN カード・オプションを SNMP で管理するための現在の設定が表示されます。



Change Settings:

LAN カード・オプションの SNMP 環境の設定を変更することができます。

項目	内容
Community name for Administrator	管理用のコミュニティ名を設定することができます。 (A S C I I 31文字以内)
Community name #1	任意のコミュニティ名 # 1 を設定することができます。 (A S C I I 31文字以内)
Community name #2	任意のコミュニティ名 # 2 を設定することができます。 (A S C I I 31文字以内)

【ご注意】 Community name をすべて変更すると、Setup Wizard でネットワーク上の LAN カード・オプションが検索できなくなります。ただし、「ターゲット指定」画面にて LAXxxxxx を手入力すれば設定は可能です。

Restore Factory Defaults:

LAN カード・オプションの SNMP のコミュニティ名を工場出荷時に戻します。

6.1.6. ROM Version

LAN カード・オプションの FLASH ROM と BOOT ROM に現在インストールされているプログラムのバージョン情報を表示します。

6.1.7. Ethernet Status

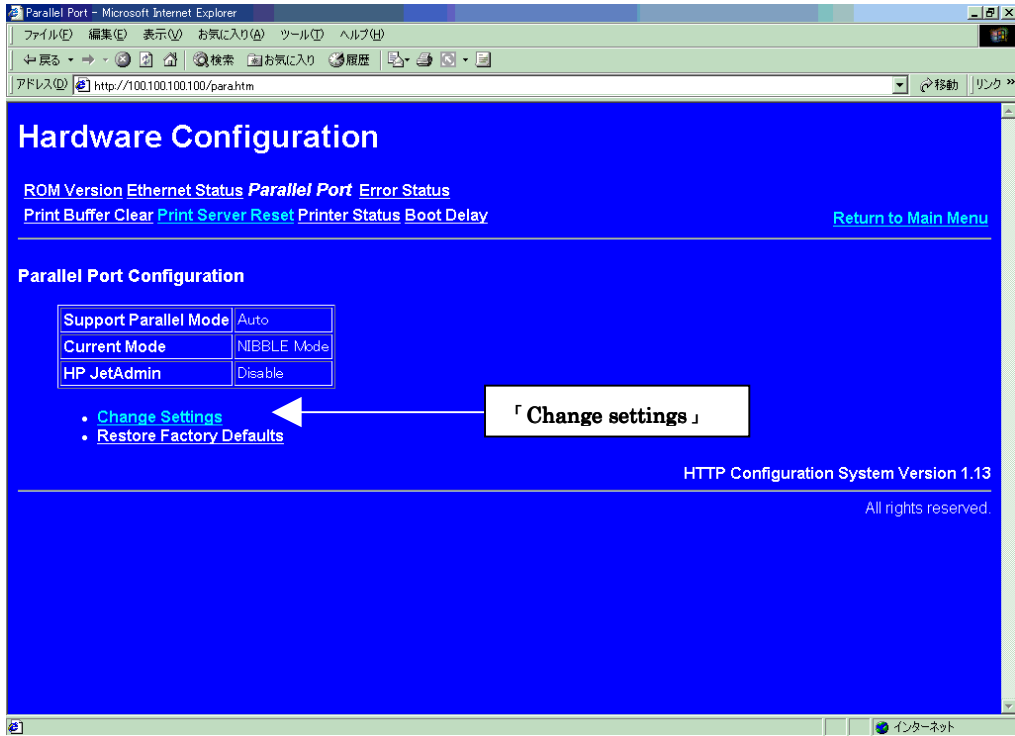
LAN カード・オプションのイーサネットアドレス (Mac アドレス) を表示します。

6.1.8. Parallel Port

LAN カード・オプションの電源 ON 時に、接続されているプリンターとのネゴシエーションを行う / 行わないの設定変更ができます。

【ご注意】 AUTO, ECP, NIBBLE MODE を使用する場合は、必ずプリンターの電源を入れ直してください。
また、ECP・NIBBLE MODE 固定の場合はプリンターがサポートしていない場合又は設定が一致していない場合はネゴシエーションエラーとなり印刷できません。

LAN カード・オプションの平行ポートの現在のモードの確認とスピード設定の変更ができます。



【ご注意】スピード設定(Normal / Fast)の変更は、ECP モード時以外は有効です。

平行ポートの現在のモードは、LAN カード・オプションが起動時にプリンターのモードを自動認識したものを確認するもので変更はできません。

Change Settings :

LAN カード・オプションの Parallel Port の設定を変更したい場合にはクリックします。

項目	内容
Support Parallel Mode	LAN カード・オプションの電源 ON 時に、接続されているプリンターとのネゴシエーションの設定変更ができます。 【ご注意】 AUTO, ECP, NIBBLE MODE を使用する場合は、必ずプリンターの電源 ON の後に LAN カード・オプションの電源を ON してください。 また、ECP・NIBBLE MODE 固定の場合はプリンターがサポートしていない場合又は設定が一致していない場合はネゴシエーションエラーとなり印刷できません。
Current Mode	現在の平行ポートのモードです。 ネゴシエーションの結果決定したモードを表示します。
Speed	ご使用になる環境に合わせて ECP モード以外の場合にストローク間隔を変更 (Normal / Fast) できます。

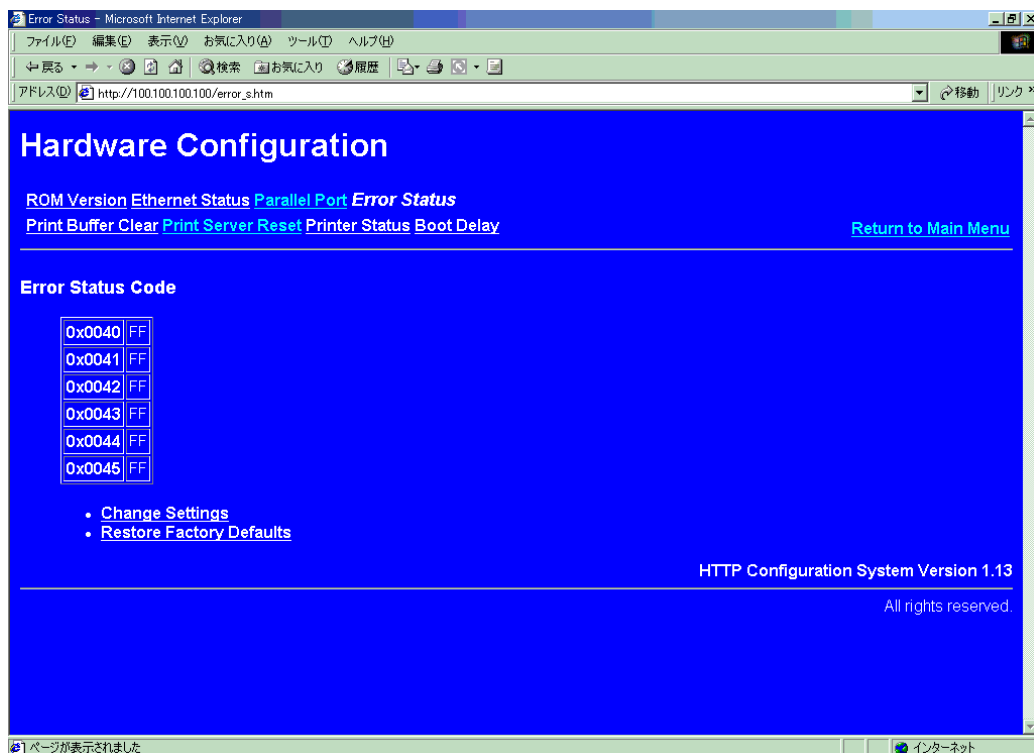
HP JetAdmin	Hewlett-Packard Company 製のネットワークプリンター設定管理ユーティリティーWebJetAdminにて、LAN カード・オプションの情報（一部）表示を行う機能を有効/無効にする設定が行えます。(Enable/Disable)
SUBMIT	データ入力終了後、クリックします。

Restore Factory Defaluts :

LAN カード・オプションの平行ポートの設定を工場出荷時に戻します。

6.1.9. Error Status

LAN カード・オプションに過去に発生したエラーの履歴を確認することができます。



エラーコードが格納されている領域は 40 番地から始まります。上の列に表示されている番地はエラーコードがかかれるアドレスのオフセットを表しています。

通常エラーが発生した場合、40 番地から 45 番地にエラーコードが書かれます。

各番地に対して、エラーが発生していない場合は 'FF' が表示されます。

次のエラーコードが書かれている場合は販売店またはメーカーにご連絡ください。

- ・ 40 番地 05, 06
- ・ 41 番地 02
- ・ 45 番地 04、06、08、0A、0C、0E、10、16、18、1A、1C、1E

【ご注意】LAN カード・オプションはエラーが発生すると、クリアしない限り以前のエラーコードを保存しています。エラーを起こした場合はクリアしてからご使用ください。

Change Settings :

LAN カード・オプションのエラーコード値を変更する場合にはクリックします。
変更したいエラーコードを「FF」に変更後、「SUBMIT」ボタンをクリックします。

Restore Factory Defaults:

LAN カード・オプションのエラーコードの値を工場出荷時に戻します。

6.1.10. Print Buffer Clear

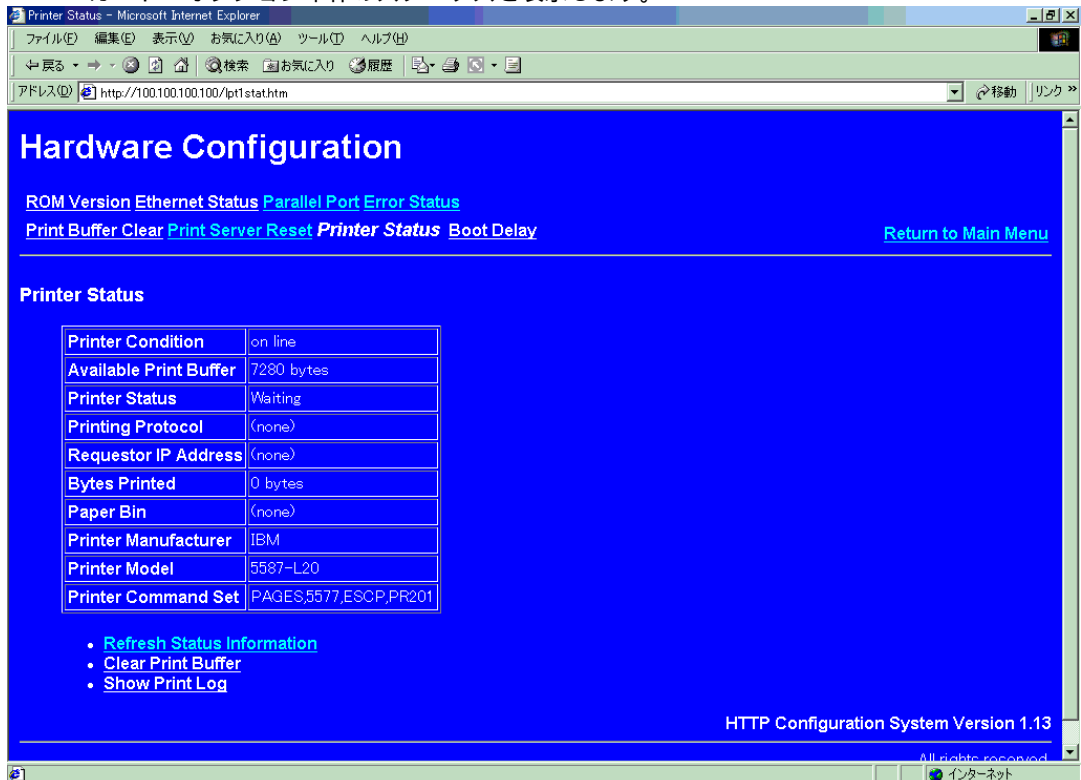
LAN カード・オプション本体の印刷バッファの内容を消去します。

6.1.11. Print Server Reset

LAN カード・オプション本体を再起動します。(ハードウェアリセット)

6.1.12. Printer Status

LAN カード・オプション本体のステータスを表示します。



The screenshot shows a web browser window with the address bar displaying `http://100.100.100.100/lpt1stat.htm`. The main content area has a blue background and is titled "Hardware Configuration". It includes a navigation menu with links for "ROM Version", "Ethernet Status", "Parallel Port Error Status", "Print Buffer Clear", "Print Server Reset", "Printer Status", and "Boot Delay". The "Printer Status" section is active and displays a table with the following data:

Printer Condition	on line
Available Print Buffer	7280 bytes
Printer Status	Waiting
Printing Protocol	(none)
Requestor IP Address	(none)
Bytes Printed	0 bytes
Paper Bin	(none)
Printer Manufacturer	IBM
Printer Model	5587-L20
Printer Command Set	PAGES,5577_ESCP,PR201

Below the table, there are three links: "Refresh Status Information", "Clear Print Buffer", and "Show Print Log". The footer of the page reads "HTTP Configuration System Version 1.13".

Refresh Status Information :

LAN カード・オプション本体のステータスを最新の情報に更新して表示します。

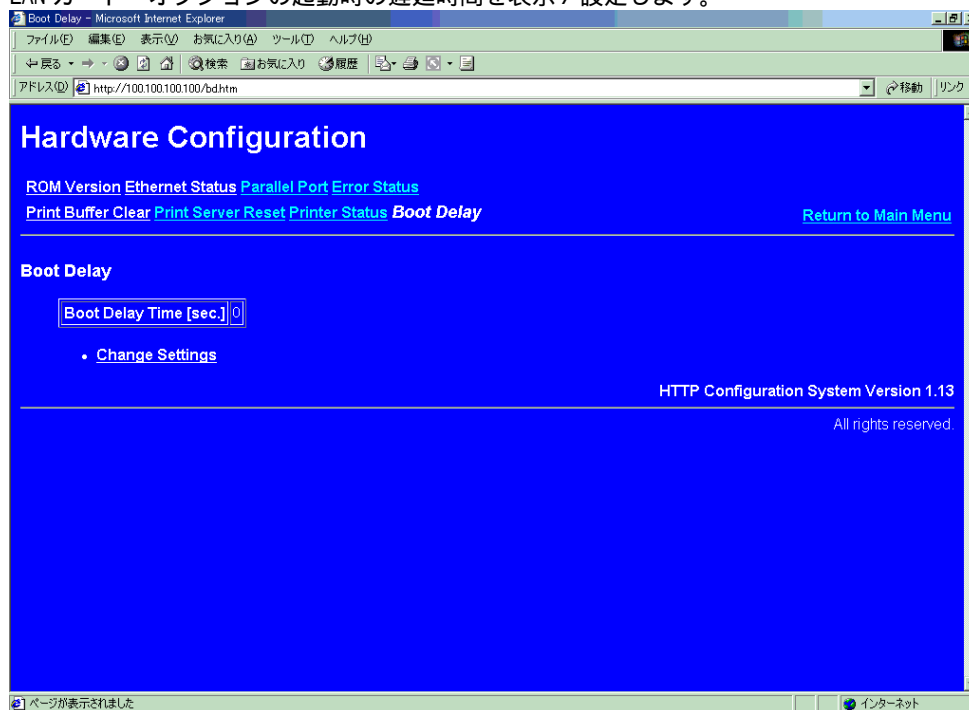
【ご注意】ただしこの機能を使用するためには、ブラウザ上でページの更新設定が必要になります。

Clear Print Buffer :

LAN カード・オプション本体の印刷バッファの内容を消去します。

6.1.13. Boot Delay

LAN カード・オプションの起動時の遅延時間を表示 / 設定します。



Change Delay Time :

LAN カード・オプションの起動時遅延時間を変更する場合にはクリックします。

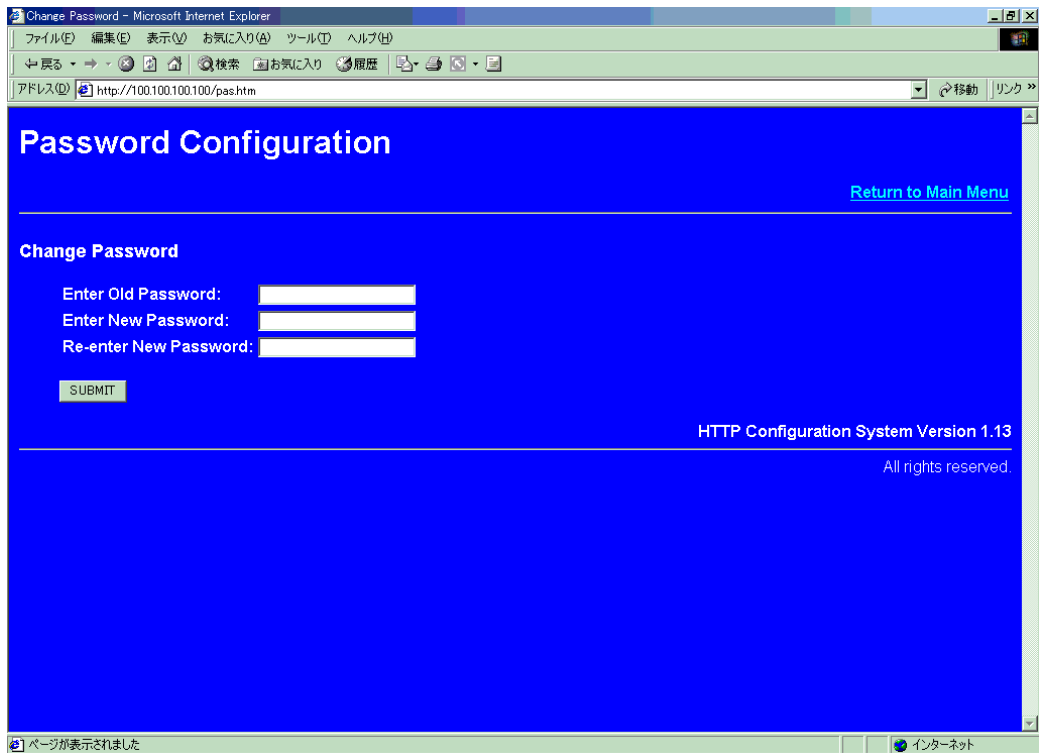
【ご注意】通常は変更する必要はありません。

【MEMO】スイッチング HUB をご使用の場合は、スイッチング HUB によって電源投入後にすぐに通信が開始されない場合がありますので、そのような場合に設定ください。

項目	内容
Boot Delay (sec)	ご使用になる環境に合わせて遅延時間を秒単位で入力します。 (0-240 Sec)
SUBMIT	データ入力終了後、クリックします。

6.1.14. Change Password

TCP/IP で LAN カード・オプションにログインするときのパスワードの変更ができます。



【ご注意】パスワードは 4 文字以上 15 文字以下で大文字小文字を区別し、半角 A ~ Z、a ~ z、0 ~ 9 を使用できます。パスワードは変更時より有効になります。LAN カード・オプションをリセットまたは電源再投入する必要はありません。

6.2. telnet

telnet は UNIX の標準の通信コマンドで、Windows95/98/NT/2000、OS/2 にも搭載されています。TCP/IP 環境で使用します。

【ご注意】 telnet を使用して LAN カード・オプションの設定を行うには、あらかじめ LAN カード・オプションに IP アドレスを設定する必要があります。IP アドレスの設定の方法は「3.1. IP アドレスの設定」をご覧ください。

6.2.1. LAN カード・オプションへのログイン

telnet で LAN カード・オプションにログインするには以下の手順で行います。

1. ワークステーションまたはパソコンから telnet を起動し、ネットワーク上の LAN カード・オプションに接続します。
telnet の起動方法はプラットフォームにより異なりますので、各ワークステーションまたはソフトウェアのマニュアルをご覧ください。
2. “ Password : ” と表示されたらパスワードを入力します。
(入力しても画面には表示されません)

【例】 UNIX ワークステーションの一例

```
% telnet IP アドレス J  
Connected to Print Server!
```

```
Password:
```

工場出荷時のパスワードのデフォルト値は、“ pass ”(小文字半角)です。
パスワードはログイン後自由に変更できます。設定されたパスワード以外でログインした場合はすべての設定情報を参照することはできませんが、設定の変更はできません。

【ご注意】 telnet で設定したパスワードを忘れてしまった場合は LAN カード・オプションの初期化を行ってください。

3. 設定されたパスワードでログインに成功した場合、次のようなメインメニューが表示されます。

< MAIN MENU >
1. TCP/IP 2. NetWare 3. LAN Manager 4. HARDWARE 5. PASSWORD
6. RESET Q. QUIT (DISCONNECT)

設定されたパスワード以外でログインすると、次のようなメインメニューが表示されます。この場合、LANカード・オプションの設定情報を参照することはできますが、設定の変更はできません。

< MAIN MENU > - Reference Only -
1. TCP/IP 2. NetWare 3. LAN Manager 4. HARDWARE
Q. QUIT (DISCONNECT)

【ご注意】 LANカード・オプションにログインした状態で約2分間キー入力がない場合、強制的に接続を解除します。LANカード・オプションにtelnetで接続できるのは1ユーザーのみです。他のユーザーは、先のユーザーがログアウトするまで接続できません。

< MAIN MENU > の構成

項 目	内 容
1 . TCP/IP	TCP/IP の設定画面へ移動します。
2 . EtherTalk	EtherTalk の設定画面へ移動します。
3 . NetWare	NetWare の設定画面へ移動します。
4 . LANManager	LANManager の設定画面へ移動します。
5 . HARDWARE	LANカード・オプション本体のFLASH ROM、BOOT ROMのバ

	ージョン表示、MAC アドレス表示、データレート表示、カレントパラレルモード表示、パラレルスピード表示、JETADMIN の有効 / 無効、サポートパラレルモード表示、BOOT DELAY TIME 表示、ERROR STATUS 表示の画面へ移動します。
6 . PASSWORD	Telnet で LAN カード・オプションにログインするためのパスワードを変更します。 パスワードは 4 文字以上 15 文字以下で大文字小文字を区別し、半角 A~Z, a~z, 0~9 を使用できます。 パスワードは変更時より有効になります。LAN カード・オプションをリセットまたは電源再投入する必要はありません。
7 . RESET	LAN カード・オプションをリセットします。
Q . QUIT (DISCONNECT)	Telnet を終了します。

【ご注意】ここでの PASSWORD は telnet でログインする時の PASSWORD です。

6.2.2. TCP/IP の設定

ここでは telnet を用いた TCP/IP に関する設定方法を説明します。

- 1 . < MAIN MENU > で「 1 . TCP/IP 」を選びます。
- 2 . < SUB MENU > 画面が表示されます。

< SUB MENU >
1. VIEW SETTINGS
2. CHANGE SETTINGS
3. RESTORE DEFAULT SETTINGS
[ESC]. PREVIOUS SCREEN

< SUB MENU > の構成

項 目	内 容
1 . VIEW SETTINGS	設定の内容を表示します。
2 . CHANGE SETTINGS	設定を変更します。
3 . RESTORE DEFAULT SETTINGS	IP アドレス以外の設定を工場出荷時の値に戻します。
[ESC] . PREVIOUS SCREEN	< MAIN MENU > に戻ります。

3 . 「 1 . VIEW SETTINGS 」を選ぶと現在の LAN カード・オプションの TCP/IP の設定が表示されます。


```

**** TCP/IP Settings ****
IP ADDRESS       : 100.100.100.100
SUBNET MASK      : 255.255.255.255
ROUTER IP ADDRESS : 255.255.255.255
RARP             : Enabled
BOOTP           : Disabled
DHCP            : Disabled
ARP + PING      : Enabled
SNMP(COMMUNITY NAME)
ADMINISTRATORS  : public
NAME #1         : public
NAME #2         : public
    
```

Press [ESC] key to continue...

4 . 「 2 . CHANGE SETTINGS 」 を選ぶと次の画面が表示されます。

```

|-----|
|           < TCP/IP >           |
|-----|
| 1. IP ADDRESS                   |
| 2. SUBNET MASK                 |
| 3. DEFAULT ROUTER             |
| 4. RARP                       |
| 5. BOOTP                      |
| 6. DHCP                       |
| 7. SNMP(COMMUNITY NAME)       |
| 8. ARP + PING                 |
| [ESC]. PREVIOUS SCREEN        |
|-----|
    
```

< TCP/IP > メニューの構成

項 目	内 容
1 . IP ADDRESS	LAN カード・オプションの IP アドレスを設定します。 【ご注意】 IP アドレスを変更した場合、変更を有効にするためには本体の電源を入れ直すか、< MAIN MENU > の「 6 . RESET 」を選択してください。
2 . SUBNET MASK	サブネットマスク設定します。
3 . DEFAULT ROUTER	デフォルト・ルータの IP アドレス指定します。
4 . RARP	RARP の使用を有効あるいは無効にできます。
5 . BOOTP	BOOTP の使用を有効あるいは無効にできます。
6 . DHCP	DHCP の使用を有効あるいは無効にできます。
7 . SNMP(COMMUNITY NAME)	SNMP の設定を行います。
8 . ARP + PING	ARP + PING による IP アドレス設定の使用を有効あるいは無効にできます。
[ESC] . PREVIOUS SCREEN	< SUB MENU > に戻ります。

デフォルトルータについて

デフォルトルータを指定しない場合は“0.0.0.0”を指定します。

RARP について

RARP を有効にする場合は必ずネットワークに RARP サーバーが起動していることを確認してから行ってください。

BOOTP について

BOOTP を有効にする場合は必ずネットワークに BOOTP サーバーが起動していることを確認してから行ってください。

DHCP について

DHCP を有効にする場合は必ずネットワークに DHCP サーバーが起動していることを確認してから行ってください。

【ご注意】起動時にサーバーから IP アドレスを取得する方法として DHCP、RARP、BOOTP がありますが、RARP/BOOTP の場合はサーバーが起動していない場合は前回起動した IP アドレスにて起動しますが、DHCP を有効時に DHCP サーバーが起動していない場合は、定期的に DHCP サーバーへのリクエストパケットを送出して、TCP/IP による通信は行えませんのでご注意ください。動作 IP アドレスの決定方法につきましては、「3.1.4 動作 IP アドレスの決定手順」を参照ください。

SNMP について

SNMP の設定画面では 3 つのコミュニティ名を設定することができます。

コミュニティ名は SNMP を利用して LAN カード・オプションの様々なステータス情報を参照するために必要な要素です。

工場出荷時のデフォルトの設定では、すべて“public”に設定されています。この場合、SNMP を使った LAN カード・オプションへのアクセスに制限はありません。

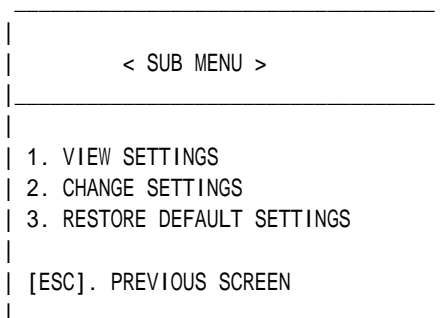
【ご注意】Community name をすべて変更すると、Setup Wizard でネットワーク上の LAN カード・オプションが検索できなくなります。ただし、「ターゲット指定」画面にて Lxxxxxx を手入力すれば設定は可能です。

【MEMO】LAN カード・オプションは、SNMP のコミュニティ名を使用して統合管理ユーティリティー「Network Utility」にて設定及び管理が行えます。

6.2.3. NetWare の設定

ここでは、telnet を用いた NetWare に関する設定方法を説明します。

- 1 . < MAIN MENU > で「3 . NetWare」を選びます。
- 2 . < SUB MENU > 画面が表示されます。



< SUB MENU > の構成

項 目	内 容
1 . VIEW SETTINGS	設定の内容を表示します。
2 . CHANGE SETTINGS	設定を変更します。
3 . RESTORE DEFAULT SETTINGS	すべての NetWare 設定を工場出荷時の値に戻します。
[ESC] . PREVIOUS SCREEN	< MAIN MENU > に戻ります。

- 3 . 1 . 「VIEW SETTINGS」を選択すると LAN カード・オプションの現在の NetWare 設定が表示されます。

< NetWare MODE が Print Server Mode の場合 >

**** NetWare Settings ****

NetWare is currently ENABLED.

NetWare MODE : Print Server Mode

NetWare FILE SERVER : (NONE)

PRINT SERVER NAME : Lxxxxxxx

LPT1 PORT NAME : Lxxxxxxx-P1

COMPANY CODE :

DEFAULT FRAME TYPE : ETHERNET_802.2

< NetWare MODE が Remote Printer Mode の場合 >

**** NetWare Settings ****

NetWare is currently ENABLED.

NetWare MODE : Remote Printer Mode

DEFAULT PRINT SERVER : (NONE)

```
PRINT SERVER NAME   : Lxxxxxxx
LPT1 PORT NAME      : Lxxxxxxx-P1
COMPANY CODE        :
DEFAULT FRAME TYPE  : ETHERNET_802.2
```

< NetWare MODE が NDS Print Server Mode の場合 >

**** NetWare Settings ****

NetWare is currently ENABLED.

```
NetWare MODE        : NDS Print Server Mode
NDS TREE NAME       :
NDS CONTEXT NAME    :
PRINT SERVER NAME   : Lxxxxxxx
LPT1 PORT NAME      : Lxxxxxxx-P1
COMPANY CODE        :
DEFAULT FRAME TYPE  : ETHERNET_802.2
```

< NetWare MODE が Standby Mode の場合 >

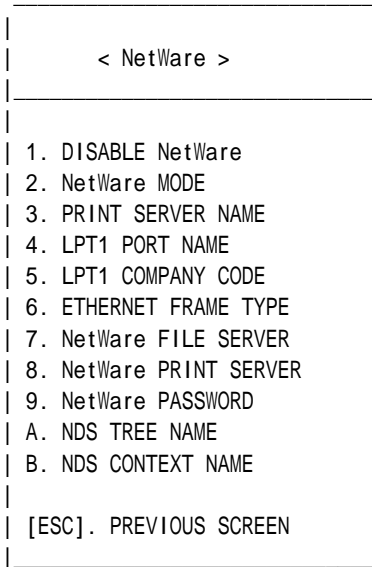
**** NetWare Settings ****

NetWare is currently ENABLED.

```
NetWare MODE        : Standby Mode
PRINT SERVER NAME   : Lxxxxxxx
LPT1 PORT NAME      : Lxxxxxxx-P1
COMPANY CODE        :
DEFAULT FRAME TYPE  : ETHERNET_802.
```

【ご注意】 設定を変更していない場合は、PRINT SERVER NAME 及び LPT1 PORT NAME の xxxxxx は、LAN カード・オプションに貼付されている MAC アドレスの下 6 桁の英数字です。

4 . < SUB MENU > の「 2 . CHANGE SETTINGS 」を選ぶと次の画面が表示されます。



< NetWare MENU > の構成

項 目	内 容
1 . DISABLE NetWare	NetWare プロトコルを停止します。 【ご注意】この場合、LAN カード・オプションは一切 IPX/SPX 通信を行いません。さらに、定期的な NetWare のパケット送信も停止します。この状態で、「2. CHANGE SETTINGS」を選択すると NetWare を Enable にするかどうかのメニューのみを表示します。
2 . NetWare MODE	LAN カード・オプションを NetWare Mode を設定できます。
3 . PRINT SERVER NAME	プリントサーバーのログイン名を設定します。
4 . LPT1 PORT NAME	プリンター・ポート名を設定します。
5 . LPT1 COMPANY CODE	NetWare3.1xJ での社別識別子を選択します。
6 . ETHERNET FRAME TYPE	使用するイーサネットフレームタイプを選択します。
7 . NetWare FILE SERVER	NetWare MODE を Print Server Mode で使用する場合は NetWare サーバーへログインするための NetWare FILE SERVER 名を設定できます。
8 . NetWare PRINT SERVER	NetWare MODE を Remote Printer Mode で使用する場合は NetWare PRINT SERVER 名を設定できます。
9 . NetWare PASSWORD	NetWare サーバーへのログインパスワードを設定します。
A . NDS TREE NAME	ログインするツリー名
B . NDS CONTEXT NAME	NDS プリントサーバーを登録するコンテキスト名
[ESC] . PREVIOUS SCREEN	< SUB MENU > に戻ります。

6.2.4. LANManager の設定

ここでは、telnet を用いた LANManager に関する設定方法を説明します。

- 1 . < MAIN MENU > で「4. LANManager」を選びます。
- 2 . < SUB MENU > 画面が表示されます。

< SUB MENU >
1. VIEW SETTINGS
2. CHANGE SETTINGS
3. RESTORE DEFAULT SETTINGS
[ESC]. PREVIOUS SCREEN

< SUB MENU > の構成

項 目	内 容
1 . VIEW SETTINGS	設定の内容を表示します。
2 . CHANGE SETTINGS	設定を変更します。
3 . RESTORE DEFAULT SETTINGS	すべての LANManager 設定を工場出荷時の値に戻します。
[ESC] . PREVIOUS SCREEN	< MAIN MENU > に戻ります。

- 3 . 「1 . VIEW SETTINGS」を選択すると現在の設定内容を次のように表示します。

```

**** LAN Manager Settings ****
LAN Manager is currently ENABLED.
HOST NAME       : LAxxxxxx
WORKGROUP NAME  : (Not Set)
TIME SERVER NAME : (Not Set)
PROTOCOL        : NetBEUI

```

【ご注意】 設定を変更されていない場合は、HOST NAME の xxxxxx は、LAN カード・オプションに貼付されている MAC アドレスの下 6 桁の英数字です。

4. < SUB MENU > の「2. CHANGE SETTINGS」を選ぶと次の様な画面が表示されます。

< LAN Manager >
1. DISABLE LAN Manager
2. Host NAME
3. WORKGROUP NAME
4. TIME SERVER NAME
5. PROTOCOL
[ESC]. PREVIOUS SCREEN

LANManager 設定メニューの構成

項 目	内 容
1 . DISABLE LANManager	LANManager プロトコルを停止します。 【ご注意】この状態で、「2. CHANGE SETTINGS」を選択すると LANManager を Enable にするかどうかのメニューのみを表示します。
2 . Host NAME	ネットワークで本体を識別するホスト名を設定します。他の機器と同じ名前を使用することはできません。必ず固有の名前を指定してください。 (半角英数字最大 15 文字以内)
3 . WORKGROUP NAME	LAN カード・オプションが属するドメイン名を設定します。 Windows95/98/NT でドメイン管理をしている場合は、使用するドメイン名またはワークグループ名を指定してください。 (半角英数字最大 15 文字以内)
4 . TIME SERVER NAME	LAN カード・オプションに設定したドメインの WindowsNT Server のドメインコントローラーを指定します。タイムサーバー名を指定しなくても印刷には影響ありませんが、プリントジョブ情報の時間が正しく表示されません。WindowsNT Server を使用していない場合やドメインの設定をしていない場合はこの値は無効です。
5 . PROTOCOL	ご使用になる LANManager のベースとなるプロトコルを TCP/IP あるいは NetBEUI のいずれかから選択します。
6 . WINS	WINS サーバーが存在するネットワーク環境で、WINS の解決をする / しない (Enable/Disable) を設定できます。このメニューは、LANManager で下位プロトコルに TCP/IP が設定してある場合のみ表示されます。
7 . WINS SERVER IP address	WINS を使用する場合には、WINS サーバーの IP アド

	レスを設定する必要があります。このメニューは、WINS が Enable に設定されている場合のみ表示されます。 【ご注意】 DHCP を使用して WINS サーバーの IP アドレスを取得する場合は設定する必要はありません。（この場合には、DHCP を有効にする必要があります）
[ESC] . PREVIOUS SCREEN	< SUB MENU > に戻ります

【ご注意】 ホスト名、ドメイン/ワークグループ名、タイムサーバー名は、下記の半角記号は入力禁止文字なので、使用しないでください。

" (ダブルクォーテーション) = (イコール) | (パイプ) ¥ (円マーク) + (プラス)
; (セミコロン) * (アスタリスク) : (コロンの)] (大カッコ右) [(大カッコ左)
, (カンマ) < (不等号大なり) > (不等号小なり) ? (クエスチョンマーク)

【ご注意】 1 ~ 7 の項目を変更した場合は、メインメニューの「7.RESET」を実行してください。

6.2.5. ハードウェア環境の設定

ここでは、telnet を用いたハードウェア環境に関する設定方法を説明します。

- 1 . < MAIN MENU > で「5 . HARDWARE」を選びます。
- 2 . < SUB MENU > 画面が表示されます。

< SUB MENU >
1. VIEW SETTINGS 2. CHANGE SETTINGS 3. RESTORE DEFAULT SETTINGS
[ESC] . PREVIOUS SCREEN

< SUB MENU > の構成

項 目	内 容
1 . VIEW SETTINGS	設定の内容を表示します。
2 . CHANGE SETTINGS	設定を変更します。
3 . RESTORE DEFAULT SETTINGS	すべての HARDWARE 設定を工場出荷時の値に戻します。
[ESC] . PREVIOUS SCREEN	< MAIN MENU > に戻ります。

- 3 . 「1 . VIEW SETTINGS」を選択すると現在の設定内容が次のように現れます。


```
**** Hardware Settings ****
FLASH ROM TYPE       : 0602
      VERSION        : xxxx
      BUILD          : xxxx-xx-xx
ETHERNET ADDRESS     : 00A07Axxxxxx
ETHERNET MODE        : Auto(Half Duplex)
DATARATE             : 100BASE-TX/10BASE-T
PRINTER SUPPORT MODE : Auto
PARALLEL SPEED       : Normal(for non ECP/NIBBLE printing)
JETADMIN             : Disable
SUPPORT PARALLEL MODE : AUTO (ECP / NIBBLE / Compatible)

BOOT DELAY TIME      : 0 sec.
ERROR STATUS 0x40    : FF
      0x41           : FF
      0x42           : FF
      0x43           : FF
      0x44           : FF
      0x45           : FF
```

FLASH ROM TYPE / VERSION / BUILD

LAN カード・オプションの FLASH ROM の TYPE / VERSION / BUILD に関する情報を表示します。

EPROM ROM TYPE / VERSION / BUILD

LAN カード・オプションの EPROM ROM の TYPE / VERSION / BUILD に関する情報を表示します。

【ご注意】 FLASH ROM 及び EPROM ROM の VERSION(xxxx) 及び BUILD(yyyy-xx-xx)は、現在の LAN カード・オプションのフラッシュメモリーに搭載しているプログラムによって変わります。

ETHERNET ADDRESS

LAN カード・オプションの ETHERNET ADDRESS を表示します。

【ご注意】 ETHERNET ADDRESS の xxxxxx は、LAN カード・オプションに貼付されている MAC アドレスの下 6 桁の英数字です。

DATARATE

LAN カード・オプションの現在の通信モード (AUTO/100BASE-TX/10BASE-T ・ (HALF DUPLEX/FULL DUPLEX))を表示します。

CURRENT PARALLEL MODE

LAN カード・オプション現在の PARALLEL MODE(Compatible Mode(Fast)/Compatible Mode(Normal)/NIBBLE /ECP)を表示します。

PARALLEL SPEED

LAN カード・オプションの現在の PARALLEL SPEED(Fast/Normal)を表示します。

【ご注意】 PARALLEL SPEED は、Compatible Mode 時のパラレルポートストロープ間隔の設定ですので、NIBBLE/ECP モードの場合は無効です。

JETADMIN

Hewlett-Packard Company 製のネットワークプリンター設定管理ユーティリティWebJetAdmin にて、LAN カード・オプションの情報（一部）表示を行う機能を有効／無効にする設定が行えます。（Enable/Disable）

SUPPORT PARALLEL MODE

LAN カード・オプションが電源 ON 時に接続されているプリンターと I/F 決定のためのネゴシエーションモード (AUTO/ECP/NIBBLE/Compatible) を表示します。

【ご注意】AUTO, ECP, NIBBLE MODE を使用する場合は、必ずプリンターの電源を入れ直してください。

また、ECP・NIBBLE MODE 固定の場合はプリンターがサポートしていない場合又は設定が一致していない場合はネゴシエーションエラーとなり印刷できません。

BOOT DELAY TIME

LAN カード・オプションの起動時の遅延時間を表示します。

ERROR STATUS

LAN カード・オプション本体のエラー状況を表示します。

4 . < SUB MENU > の「 2 . CHANGE SETTINGS 」を選ぶと次の画面が表示されます。

< HARDWARE MENU >
1. ETHERNET MODE
2. PARALLEL PROT SPEED
3. BOOT DELAY
4. ERROR STATUS CLEAR
5. JETADMIN
6. SUPPORT PARALLEL MODE
[ESC]. PREVIOUS SCREEN

ハードウェア設定メニューの構成

項 目	内 容
1 . ETHERNET MODE	LAN カード・オプションの通信モード (AUTO/100BASE-TX/10BASE-T・(HALF DUPLEX/FULL DUPLEX)) を設定します。
2 . PARALLEL PORT SPEED	印刷ポートのストローブ間隔 (Fast/Normal) を調整できます。 【ご注意】パラレルポートストローブ間隔の設定です。 ECP モードの場合は無効です。
3 . BOOT DELAY	起動時の遅延時間を調整できます。
4 . ERROR STATUS CLEAR	LAN カード・オプション本体のエラー状況をクリアできます。
5 . JETADMIN	Hewlett-Packard Company 製のネットワークプリンター設定管理ユーティリティWebJetAdmin にて、LAN カード・オプションの情報（一部）表示を行う機能を有効／無効にする設定が行えます。（Enable/Disable）

6 . SUPPORT PARALLEL MODE	LAN カード・オプションが電源 ON 時に接続されているプリンターと I/F 決定のためのネゴシエーションモード (AUTO/ECP/NIBBLE/Compatible) を設定できます。
[ESC] . PREVIOUS SCREEN	< SUB MENU > に戻ります

< HARDWARE MENU > 画面で「4 . ERROR STATUS CLEAR」を選ぶと次の画面が表示されます。

< CLEAR ERROR STATUS >
0. CLEAR 0x40
1. CLEAR 0x41
2. CLEAR 0x42
3. CLEAR 0x43
4. CLEAR 0x44
5. CLEAR 0x45
[ESC] . PREVIOUS SCREEN

```

ERROR STATUS 0x40 : FF
                0x41 : FF
                0x42 : FF
                0x43 : FF
                0x44 : FF
                0x45 : FF
    
```

エラーコードが格納されている領域は 40 番地から始まります。左の列に表示されている番号はエラーコードが書かれるアドレスのオフセットを表しています。

通常エラーが発生した場合、40 番地から 45 番地にエラーコードが書かれます。特定の場
合のみ、その他の番地にエラーコードが書かれます。

各番地に対して、エラーが発生していない場合は 'FF' が表示されます。

次のエラーコードが書かれている場合は販売店またはメーカーにご連絡ください。

- ・ 40 番地 05、06
- ・ 41 番地 02
- ・ 45 番地 04、06、08、0A、0C、0E、10、16、18、1A、1C、1E

【ご注意】 LAN カード・オプションはエラーが発生すると、クリアしない限り以前のエラーコードを保存しています。エラーを起こした場合はクリアしてからご使用ください。

6.3. Setup Wizard

Setup Wizard は LAN カード・オプションに付属の簡単セットアップウィザードです。

LAN カード・オプションを初めて設定する場合に設置されているネットワーク状況を自動認識し、設定に必要な入力項目をウィザード形式で順次指示することにより、設定作業の効率が大幅に向上しました。

【ご注意】すでに設定済みの LAN カード・オプションの設定変更を行うことも可能です。**特に、NetWare 環境のみでご使用の場合に NetWare モードを切り替える場合は、Setup Wizard 又は Network Utility で変更可能です。**(LAN カード・オプションを工場出荷時の設定にもどした場合待機モードとなります。)

動作環境

Setup Wizard が動作するために必要な環境は次の通りです。

1. クライアント OS

Windows95/98

【ご注意】Windows95 の Bバージョン(OSR2 版)以前の環境でご使用になる場合は、IE4.0 をインストールする必要があります。

WindowsNT4.0

【ご注意】WindowsNT4.0 にて使用する場合には、ServicePack3 をインストールすることが最低必要です。

推奨する環境としては、ServicePack4 をインストールすることが望ましいです。

【ご注意】WindowsNT3.51、Windows2000 には対応していません。

2. ネットワーク

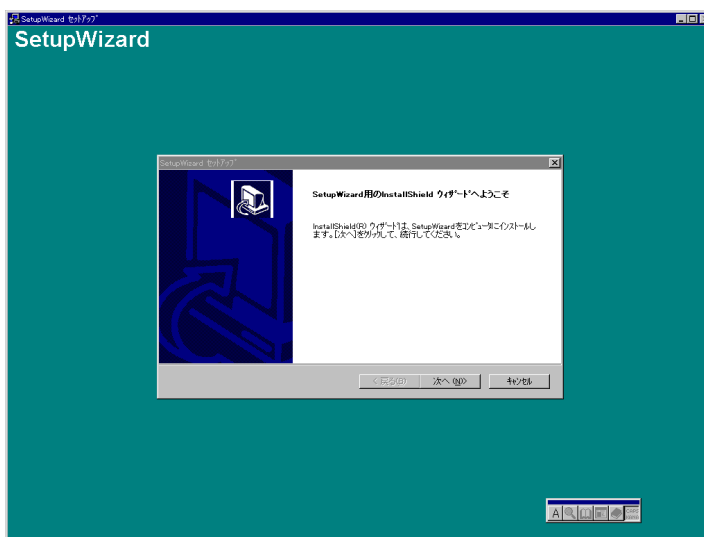
NetWare IPX/SPX プロトコル (3.1J 以降)

TCP/IP プロトコル

6.3.1. Setup Wizard のインストール

インストール手順

1. LAN カード・オプションに付属の「サポート CD」をドライブに挿入します。
2. フォルダ 「Utility」 「SetupWizard」 「PROGRAM.DSK」から “SETUP.EXE” を実行します。



2. セットアップが起動したら最初の画面で [次へ] ボタンをクリックしてください。
3. 次に、Setup Wizard をインストールするディレクトリパスを指定してください。
【ご注意】デフォルトでは “C:\Program Files\LAN カードオプション\Setup Wizard” になっています。
インストール先の指定が終了したら [次へ] ボタンをクリックしてください。
4. 必要なファイルをコピーし、プログラムグループ内に「LAN カードオプション」「Setup Wizard」グループの登録を行います。
5. セットアップが正常に完了し、「セットアップの完了」という確認画面が表示されたら [完了] ボタンをクリックして、Readme.txt をご一読の上、ご使用願います。

6.3.2. Setup Wizard の起動

Setup Wizard を起動すると、ウィザードを起動したクライアント PC の設定を自動認識してネットワーク上の LAN カード・オプションを検索します。検索方法としては、TCP/IP 通信もしくは IPX/SPX 通信を使用してネットワーク上の LAN カード・オプションを検索しますが、Setup Wizard を起動する PC のネットワーク設定とその PC が設置されているネットワーク環境及び NetWare ネットワーク環境での権限によって検索方法及び設定可能な項目が異なります。

Setup Wizard では検索方法の内容を起動時にメッセージにて表示します。

(検索方法の詳細は、検索方法を決定する環境一覧を参照ください)

一般的に NetWare ではネットワークの管理者を“スーパーバイザ”または“アドミニストレータ”と言います。以後この種類のユーザーを“管理者”とします。

検索方法を決定する環境一覧

環境 1 : Setup Wizard を起動する PC にネットワークアダプタがセットアップされていない場合。

環境 2 : Setup Wizard を起動する PC が TCP/IP、IPX/SPX を未サポート

- (1) TCP/IP、IPX/SPX が共にインストールされていない場合。
- (2) TCP/IP が未インストールで、IPX/SPX がインストールされているがファイルサーバーが存在しない場合。
- (3) TCP/IP がインストールされているが IP アドレスが未設定で、IPX/SPX がインストールされているがファイルサーバーが存在しない場合。

環境 3 : Setup Wizard を起動する PC が IPX/SPX のみサポート

(ファイルサーバーに管理者でログインしていない)

- (1) IPX/SPX がインストールされていてネットワーク上にファイルサーバーが存在しているが、TCP/IP が未インストール。
- (2) IPX/SPX がインストールされていてネットワーク上にファイルサーバーが存在して、TCP/IP がインストールされているが IP アドレスが未設定の場合。

環境 4 : Setup Wizard を起動する PC が IPX/SPX のみサポート

(ファイルサーバーに管理者でログインしている)

- (1) IPX/SPX がインストールされていてネットワーク上にファイルサーバーが存在しているが、TCP/IP が未インストール。
- (2) IPX/SPX がインストールされていてネットワーク上にファイルサーバーが存在して、TCP/IP がインストールされているが IP アドレスが未設定の場合。

環境 5 : Setup Wizard を起動する PC が TCP/IP のみサポート

- (1) TCP/IP がインストールされていて IP アドレスが設定されているが、IPX/SPX が未インストール。
- (2) TCP/IP がインストールされていて IP アドレスが設定されていて、IPX/SPX がインストールされているがファイルサーバーが存在しない場合。

環境 6 : Setup Wizard を起動する PC が TCP/IP と IPX/SPX 共にサポート

(ファイルサーバーに管理者でログインしていない)

- (1) TCP/IP がインストールされていて IP アドレスが設定されていて、IPX/SPX がインストールされているが管理者でログインしていない場合。

環境 7 : Setup Wizard を起動する PC が TCP/IP と IPX/SPX 共にサポート

(ファイルサーバーに管理者でログインしている)

- (1) TCP/IP がインストールされていて IP アドレスが設定されていて、IPX/SPX がインストールされているが管理者でログインしている場合。

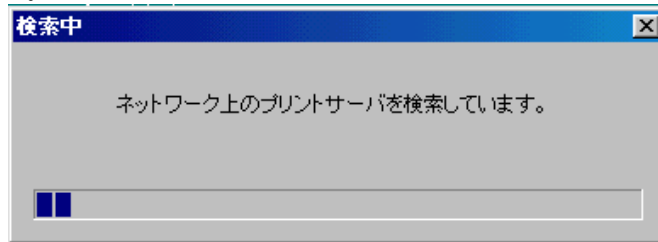
検索方法	環境
設定不能	環境 1、環境 2
TCP/IP による検索	環境 5、環境 6
IPX/SPX による検索	環境 3、環境 4、環境 7

Windows95/98 , WindowsNT 4.0 での起動

[スタート] メニューから “ プログラム ” → “ LAN カードオプション ” “ Setup Wizard ” → “ SetupWizard ” を選択します。

1 . T C P / I P 通信による検索

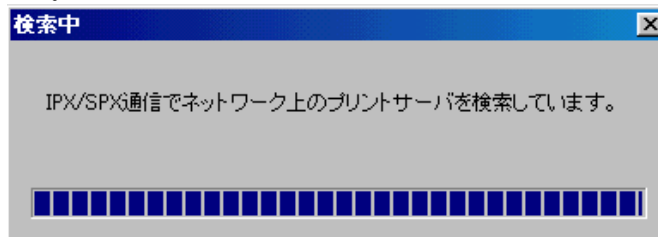
ネットワーク上の LAN カード・オプションを TCP/IP 通信にて検索する場合、下の画面を表示します。



【ご注意】 TCP/IP で検索を実行した場合に、SetupWizard を起動している PC と異なる Gateway Address (=存在しない Router の Address) が LAN カード・オプションに設定されている場合は、検索が行えません。この場合は、LAN カード・オプションの GateWayAddress を無効 (0.0.0.0) に設定する / LAN カード・オプションを初期化 (test SW 使用) する必要があります。

2 . I P X / S P X 通信による検索

ネットワーク上の LAN カード・オプションを IPX/SPX 通信にて検索する場合、下の画面を表示します。



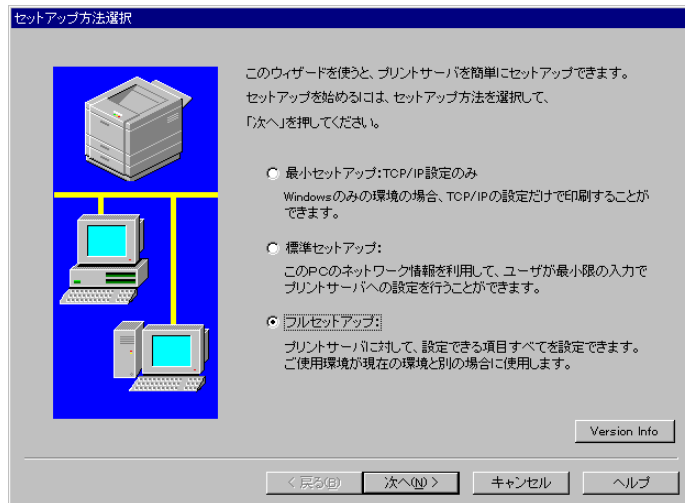
【ご注意】 大規模なネットワークでは、この処理が完了するまでに数分かかる場合があります。

【ご注意】 検索を実行してネットワーク上に LAN カード・オプションが存在しない場合、もしくは同一セグメント内に LAN カード・オプションが存在しない場合には下記のエラーメッセージを表示します。Setup Wizard は、ルータやゲートウェイを介して LAN カード・オプションの設定を行うことはできません。必ず LAN カード・オプションと同一セグメント内のクライアント PC で使用してください。



6.3.3. セットアップ方法選択

Setup Wizard を起動しネットワーク上の LAN カード・オプションの検索を終了するとユーザーの用途に合わせてセットアップ方法を選択することができます。

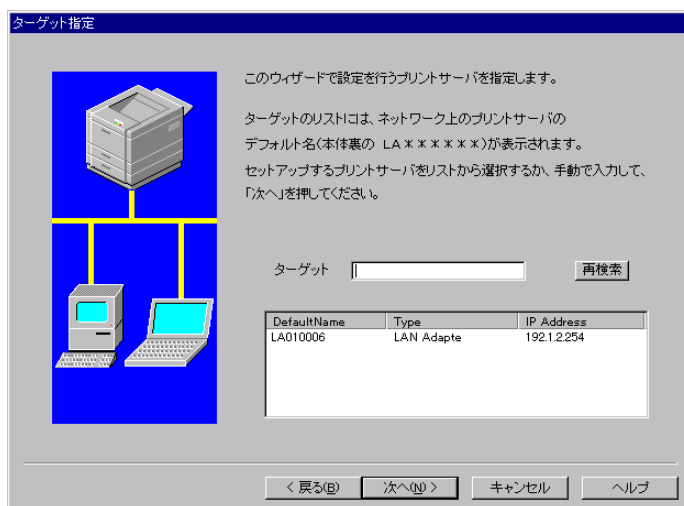


6.3.4. フルセットアップ

LAN カード・オプションに対して、設定できる項目すべてを設定したい場合にはこの方法をご使用ください。

ご使用環境が Setup Wizard を起動している環境と異なる場合には便利です。

「セットアップ方法選択」の画面で、「次へ」をクリックすると、「ターゲット指定」の画面が表示されます。

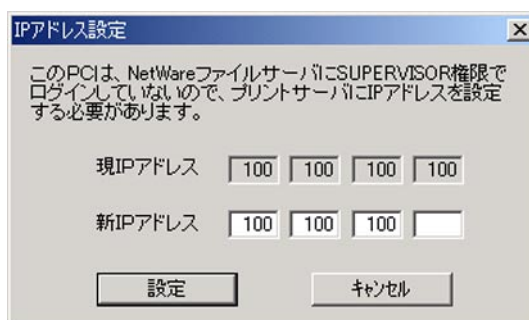


1. 「TCP/IP 通信による設定」の場合

ターゲット指定

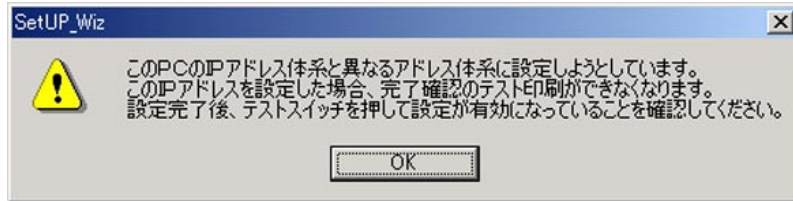
「ターゲット指定」の画面ネットワーク上に存在する LAN カード・オプションの一覧が表示されますので、設定を行いたい LAN カード・オプションのデフォルト名(DefaultName)をハイライト指定して、「次へ」をクリックすると「IP アドレス設定」の画面が表示されます。

IP アドレス設定



ここで、現 IP アドレスは現在の PC で通信可能な IP 体系を PC の設定から自動認識して表示します。後は、LAN カード・オプションに設定したい IP を「新 IP アドレス」に入力して「設定」をクリックするとターゲットの設定値を取得して、「TCP/IP 設定」の画面が表示されます。

【**ご注意**】通信可能な IP 体系でない IP アドレスを設定すると下記の警告メッセージを表示します。この場合設定完了後のテスト印刷は行えません。



2. 「IPX/SPX 通信による設定」の場合

ターゲット指定

「ターゲット指定」の画面ネットワーク上に存在する LAN カード・オプションの一覧が表示されますので、設定を行いたい LAN カード・オプションのデフォルト名(DefaultName)をハイライト指定して、「次へ」をクリックするとターゲットの設定値を取得して、「TCP/IP 設定」の画面が表示されます。

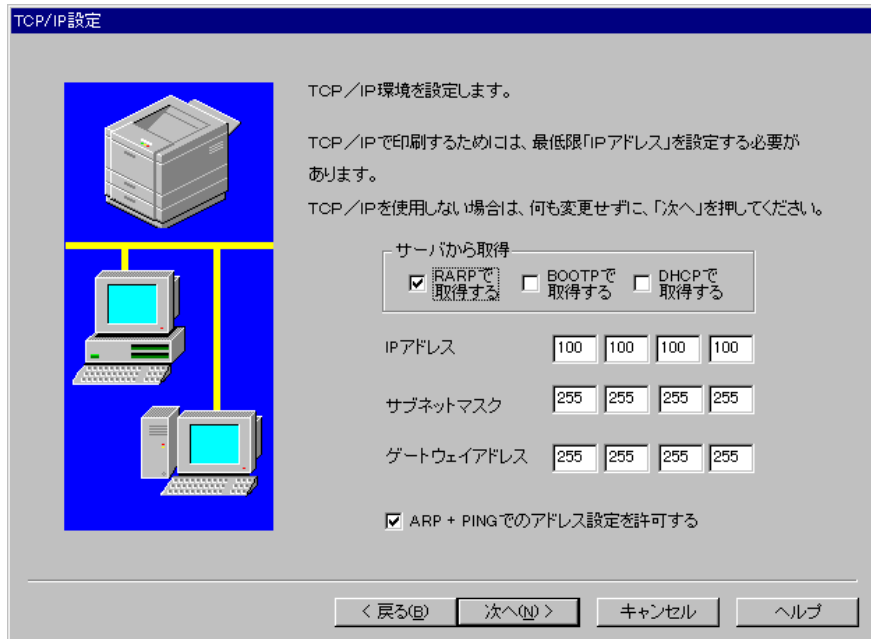
【**ご注意**】PC が IPX/SPX のみサポートで LAN カード・オプションの NetWare が Disable の場合は、ターゲットのリストが表示されません。この場合は、PC に TCP/IP をインストールし IP を設定していただく必要があります。

TCP/IP 設定

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定ができます。

また、IP アドレスの取得方法として、RARP、BOOTP、DHCP を設定可能です。ARP+PING での IP アドレス設定の許可 / 不許可の設定が行えます。TCP/IP を使用しない場合は、設定する必要はありません。必要な項目を設定して、「次へ」をクリックすると「LAN Manager 設定」画面が表示されます。

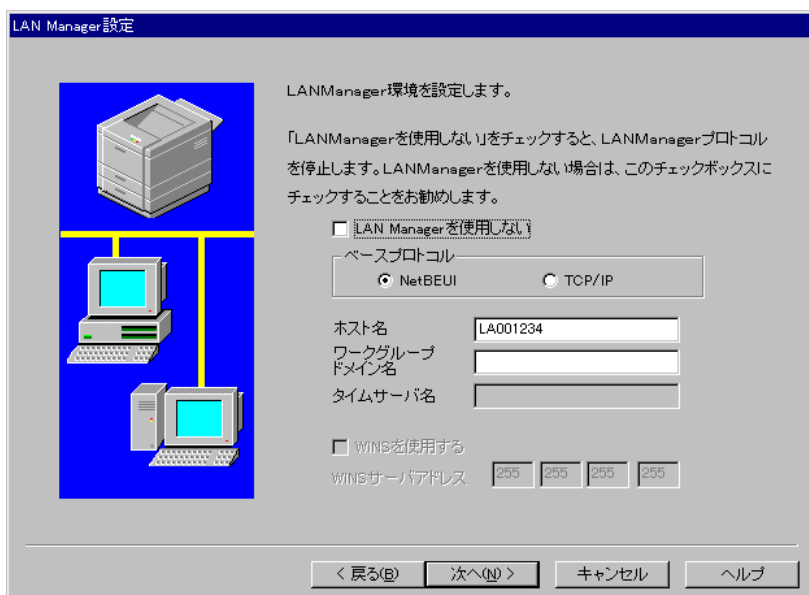
TCP/IP の設定に関する詳細は、「第 3 章 TCP/IP」をご参照ください。



【ご注意】起動時にサーバーから IP アドレスを取得する方法として DHCP、RARP、BOOTP がありますが、RARP/BOOTP の場合はサーバーが起動していない場合は前回起動した IP アドレスにて起動しますが、DHCP を有効時に DHCP サーバーが起動していない場合は、定期的に DHCP サーバーへのリクエストパケットを送出して、TCP/IP による通信は行えませんのでご注意ください。動作 IP アドレスの決定方法につきましては、「3.1.4 動作 IP アドレスの決定手順」を参照ください。

LANManager 設定

LAN Manager の設定を行えます。LAN Manager を使用する / 使用しない、ベースプロトコル (NetBEUI or TCP/IP) の選択、ホスト名、ワークグループドメイン名、タイムサーバー名 (ベースプロトコルを TCP/IP 選択時のみ)、WINS を使用する / 使用しない (ベースプロトコルを TCP/IP 選択時のみ)、WINS Server IP Address (WINS 使用時のみ) の設定ができます。必要な項目を設定して、「次へ」を押すと「NetWare モード」の画面が表示されます。LANManager の設定に関する詳細は、「第5章 LANManager (TCP/IP, NetBEUI)」をご参照ください。

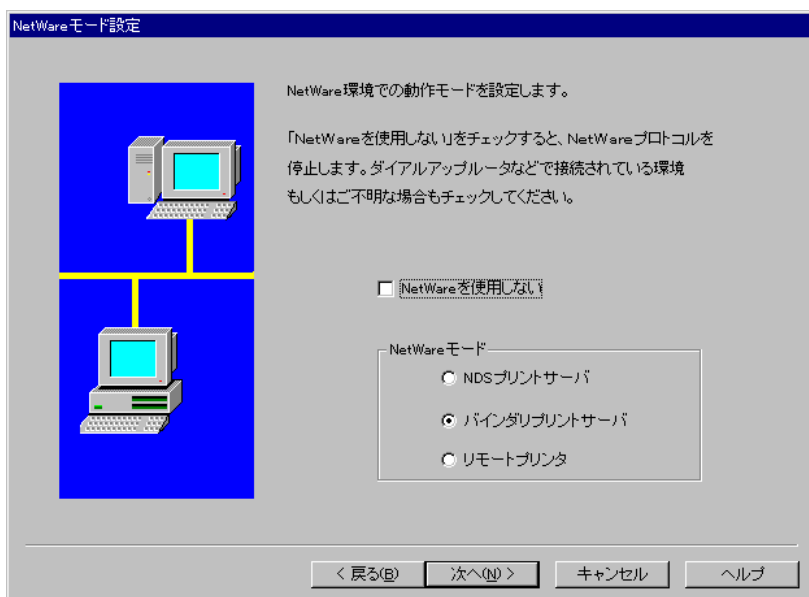


NetWare モード設定

1. 「TCP/IP 通信による設定」の場合

NetWare 環境での NetWare モードを設定できます。

NetWare を使用する / 使用しないの選択、NetWare モードの選択ができます。必要な設定をして、「次へ」をクリックすると「フレームタイプ設定」の画面が表示されます。



2. 「IPX/SPX 通信による設定」の場合

NetWare モードの選択設定ができます。

NetWare を使用する / 使用しないの選択 (下記 [注意] 参照) ができます。

必要な設定をして、「次へ」をクリックすると「フレームタイプ設定」の画面が表示されます。

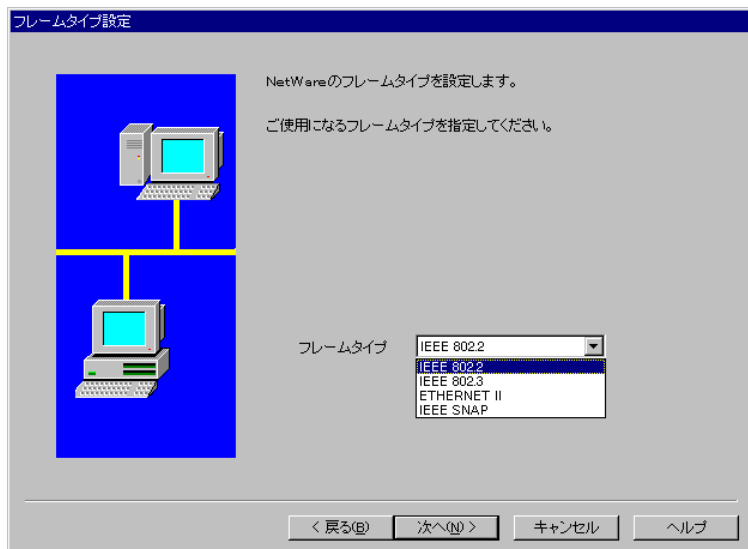
NetWare の設定に関する詳細は、「第4章 NetWare」をご参照ください。

【ご注意】IPX/SPX 通信による設定の場合に、「NetWare を使用しない」設定を実行しようとするときエラーメッセージが出ます。Setup Wizard を起動している PC を TCP/IP で使用できる設定を実施後、ウィザードを再起動してください。TCP/IP 通信と IPX/SPX 通信が共にインストールされている環境の場合は、NetWare からログアウトしてウィザードを再起動してください。

フレームタイプ設定

フレームタイプの設定ができます。使用するフレームタイプを選択して「次へ」をクリックしてください。

NetWare の設定に関する詳細は、「第4章 NetWare」をご参照ください。



バインダリプリントサーバー設定

「NetWare モード」でバインダリプリントサーバーを選択した場合には次の画面が表示されます。

プリントサーバーがログインするファイルサーバーの指定及びプリントサーバー名、プリントサーバーの指定ができます。

1. 環境3、環境5、環境6の場合

プリントサーバーがログインするファイルサーバーの指定及びプリントサーバー名及びプリントサーバーパスワードをLANカード・オプションに設定できます。

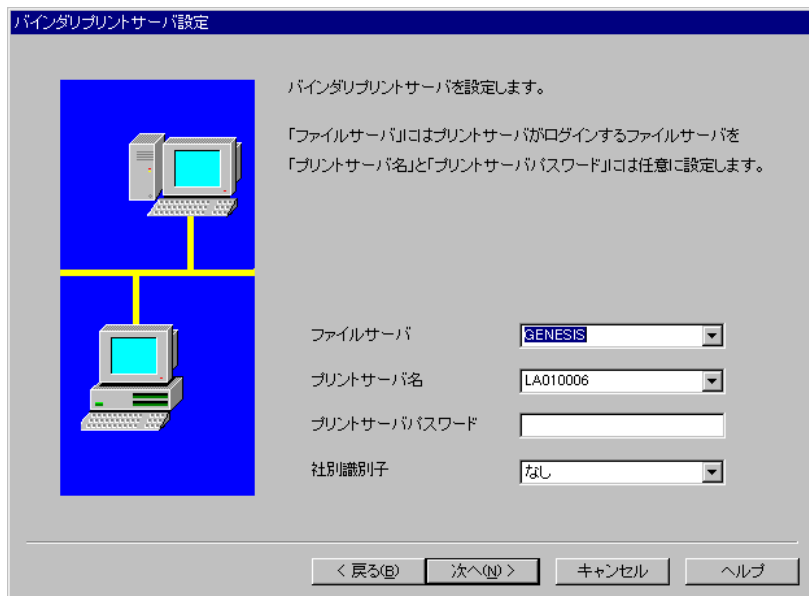
2. 環境4、環境7の場合

プリントサーバーがログインするファイルサーバーの指定及びプリントサーバー名及びプリントサーバーパスワードをLANカード・オプションに設定できます。また、**ファイルサーバーへの登録**も行われます。

必要な設定を行い「次へ」をクリックすると「バインダリプリントキュー設定」の画面が表示されます。NetWareの設定に関する詳細は、「第4章 NetWare」をご参照ください。

【ご注意】 NetWare4.1xJ以降のファイルサーバーは社別識別子を使用しません。

【ご注意】 ログインしていないファイルサーバーへの登録は行えません。



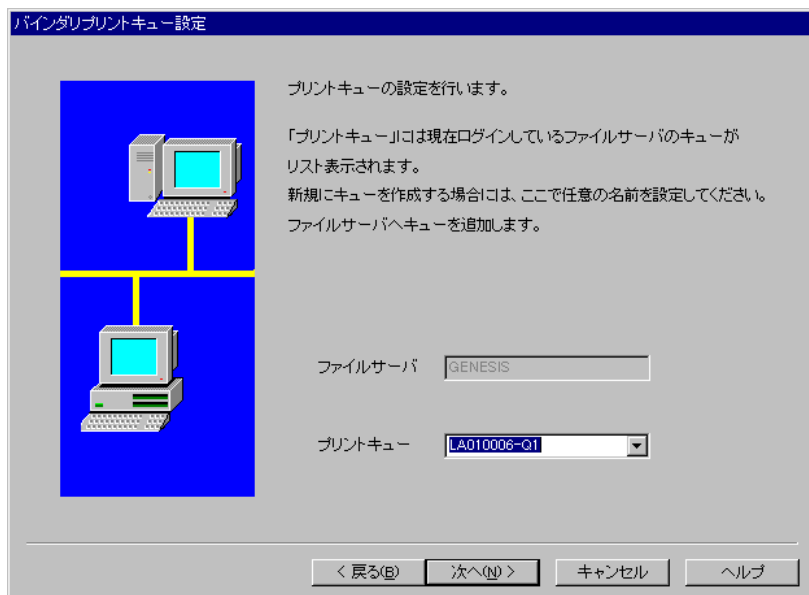
バインダリプリントキュー設定

この画面は、ファイルサーバーに管理者でログインしている場合のみ表示されます。

ログインしているファイルサーバーにプリントキューの設定が行えます。

ここで入力した名前のキューをファイルサーバー上に作成します。

NetWareの設定に関する詳細は、「第4章 NetWare」をご参照ください。

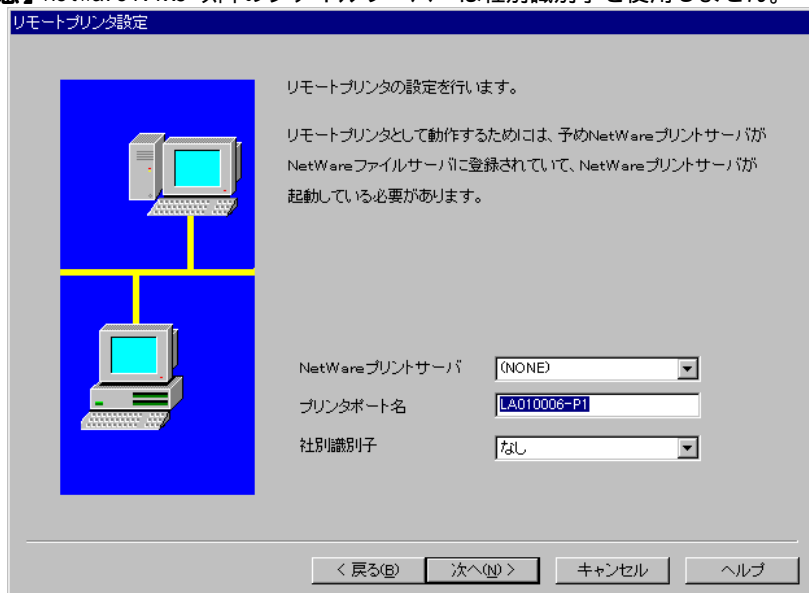


リモートプリンター設定

「NetWare モード」でリモートプリンターを選択した場合にはこの画面が表示されます。NetWare プリントサーバー名 / プリンターポート名 / 社別識別子の指定ができます。NetWare の設定に関する詳細は、「第4章 NetWare」をご参照ください。

【ご注意】 Setup Wizard では、LAN カード・オプションへのプリントサーバーの登録を行うことができますが、プリントサーバープログラムの起動は別途ファイルサーバー上にて手動で行う必要があります。

【ご注意】 NetWare4.1xJ 以降のファイルサーバーは社別識別子を使用しません。



NDS プリントサーバー設定

「NetWare モード」で NDS プリントサーバーを選択した場合には次の画面が表示されます。プリントサーバーがログインするツリー・コンテキストの指定及びプリントサーバー名、プリンタポート名の指定ができます。

【ご注意】 Setup Wizard で、NDS プリントサーバーの設定をするためには、クライアント PC に Novell Client32 がインストールされている必要があります。

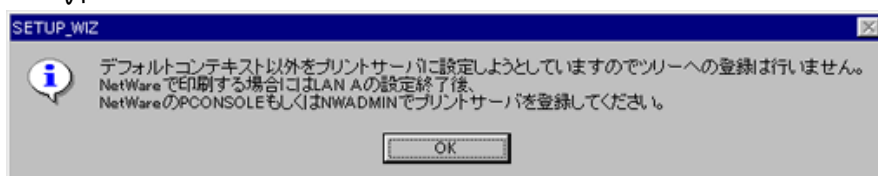
1. 環境 3、環境 5、環境 6 の場合

プリントサーバーがログインするツリーの設定 及びコンテキストの設定 及びプリンターポート 及びプリントサーバーパスワードを LAN カード・オプションに設定できます。

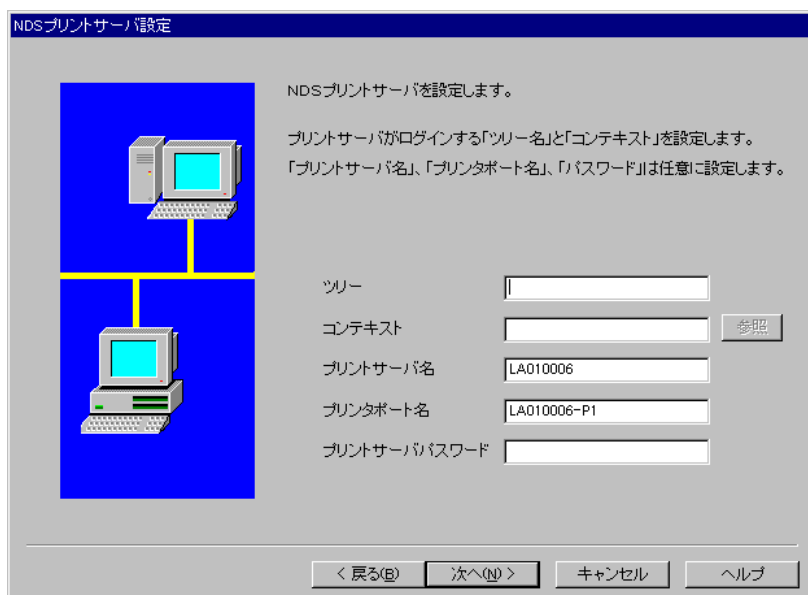
2. 環境 4、環境 7 の場合

プリントサーバーがログインするツリーの設定 及びコンテキストの設定 及びプリンターポート 及びプリントサーバーパスワードを LAN カード・オプションに設定できます。また、ファイルサーバへの登録も行われます。

【ご注意】 デフォルトコンテキスト以外には登録が行えません。この場合は 別途 NetWare に付属の PCONSOLE 又は NWADMIN32 を使用してファイルサーバーに登録してください



必要な設定を行い「次へ」をクリックすると「NDS プリントキュー設定」の画面が表示されます。NetWare の設定に関する詳細は、「第 4 章 NetWare」をご参照ください。



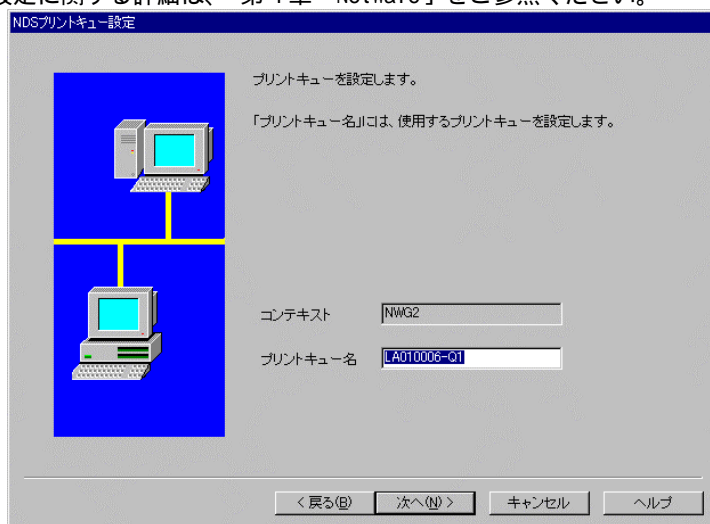
NDS プリントキュー設定

この画面は、ツリーに管理者でログインしている場合のみ表示されます。

ログインしているツリーにプリントキューの設定が行えます。

ここで入力した名前のキューをファイルサーバー上に作成します。

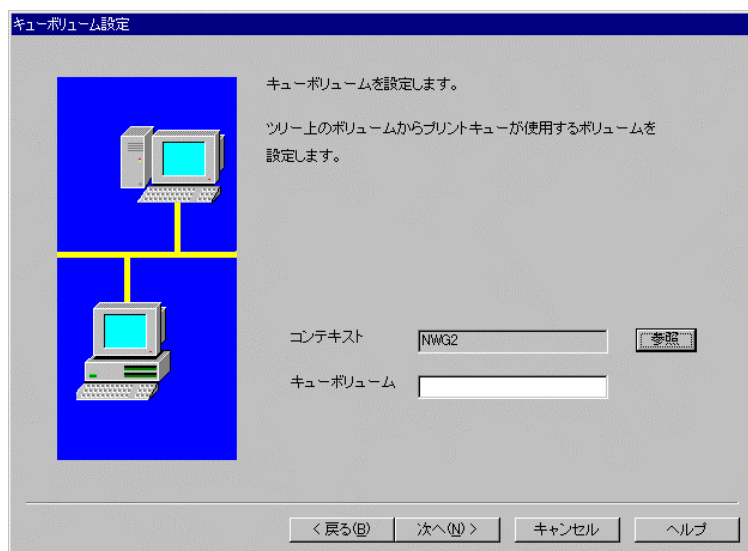
NetWare の設定に関する詳細は、「第4章 NetWare」をご参照ください。



NDS キューボリューム設定

キューボリュームが存在するコンテキスト及び、実際の印刷データを格納するボリューム名を指定します。

NetWare の設定に関する詳細は、「第4章 NetWare」をご参照ください。



SNMP 設定

プリントサーバーの SNMP コミュニティ名を設定できます。必要であれば設定を行い、「次へ」をクリックすると「ハードウェア設定」画面が表示されます。

【ご注意】 LAN カード・オプションはトラップ機能には対応してないので、必ずグレースアウト表示されます。



ハードウェア設定

LAN カード・オプションが電源 ON 時に接続されているプリンターと I/F 決定のためのネゴシエーションモード (AUTO/ECP/NIBBLE/Compatible) を表示します。

【ご注意】 ECP/Nibble に設定する場合は、必ずプリンタに接続していることを確認下さい。

【ご注意】AUTO, ECP, NIBBLE MODE を使用する場合は、必ずプリンターの電源を入れ直してください。

また、ECP・NIBBLE MODE 固定の場合はプリンターがサポートしていない場合又は設定が一致していない場合はネゴシエーションエラーとなり印刷できません。

Hewlett-Packard Company 製のネットワークプリンター設定管理ユーティリティー WebJetAdmin にて、LAN カード・オプションの情報（一部）表示を行う機能を有効・無効にする設定が行えます。

LAN カード・オプションの平行ポートの現在の転送速度（ストロブ間隔）の変更ができます。

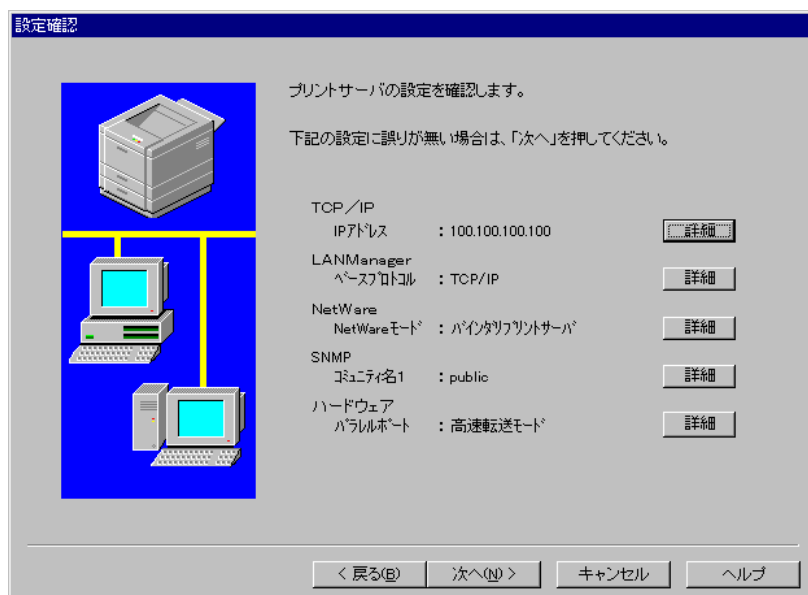
必要な設定を行い、「次へ」をクリックすると「設定確認」の画面が表示されます。

【ご注意】転送速度（標準モード / 高速転送モード）の変更は、ECP モード以外で無効です。

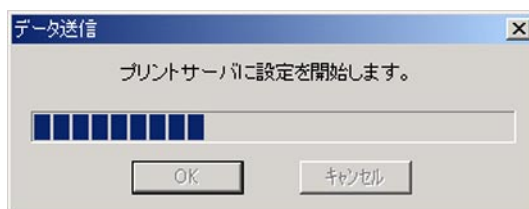


設定確認及びデータ転送及び完了

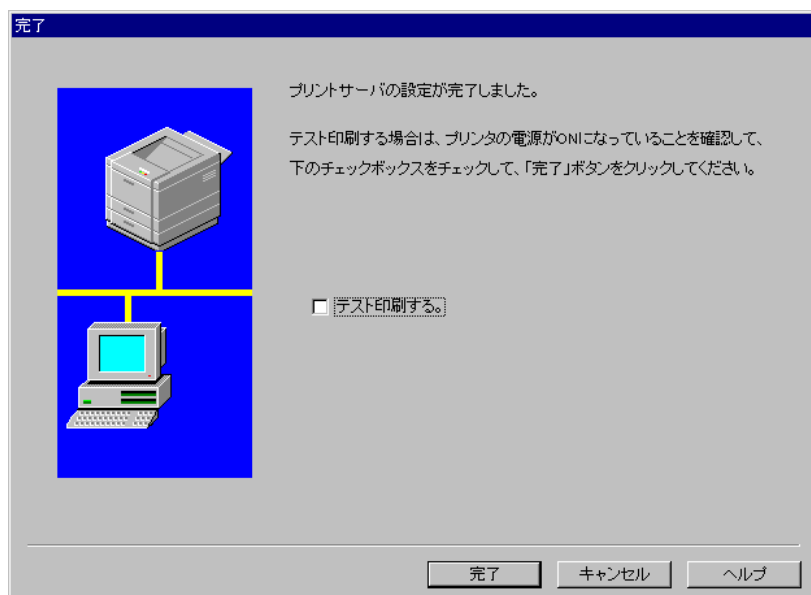
「設定確認」の画面が表示されたら、設定した項目に間違いがなければ「次へ」をクリックしてください。



「データ転送」の画面が表示されますので問題がなければ「OK」をクリックしてください。すると、LANカード・オプションにデータを転送して設定を行います。



設定が終了すると「完了」の画面が表示されます。テスト印刷が必要であればチェックを入れて「完了」をクリックしてください。これで、セットアップは終了です。



6.3.5. 標準セットアップ

Setup Wizard を起動している PC の設定を自動認識してユーザーが最小限の入力で LAN カード・オプションの設定を行うことができます。

下記に、PC の設定環境ごとにどのような設定が行えるかを説明します。(環境の詳細は、検索方法を決定する環境一覧を参照ください)
フルセットアップで説明した画面で、どのような遷移をするかを説明します。

1. 環境3の場合

(1) 「NetWare モード設定」でバインダリプリントサーバーモードを指定した時

「ターゲット指定」 「NetWare モード設定」 「バインダリプリントサーバー設定」
「SNMP 設定」 「ハードウェア設定」 「設定確認」 「データ送信」 「完了」

(2) 「NetWare モード設定」でリモートプリンタモードを指定した時

「ターゲット指定」 「NetWare モード設定」 「リモートプリンタ設定」
「SNMP 設定」 「ハードウェア設定」 「設定確認」 「データ送信」 「完了」

(3) 「NetWare モード設定」でNDS プリントサーバーモードを指定した時

「ターゲット指定」 「NetWare モード設定」 「NDS プリントサーバー設定」
「SNMP 設定」 「ハードウェア設定」 「設定確認」 「データ送信」 「完了」

2. 環境4の場合

(1) ファイルサーバーに管理者でログインしている場合で、「NetWare モード設定」でバインダリプリントサーバーモードを指定した時

「ターゲット指定」 「NetWare モード設定」 「バインダリプリントサーバー設定」

「バインダリプリントキュー設定」 「SNMP 設定」 「ハードウェア設定」
「設定確認」 「データ送信」 「完了」

(2) 「NetWare モード設定」でリモートプリンターモードを指定した時

「ターゲット指定」 「NetWare モード設定」 「リモートプリンター設定」
「SNMP 設定」 「ハードウェア設定」 「設定確認」 「データ送信」 「完了」

**(3) ファイルサーバーに管理者でログインしている場合で、「NetWare モード設定」で NDS
プリントサーバーモードを指定した時**

「ターゲット指定」 「NetWare モード設定」 「NDS プリントサーバー設定」
「SNMP 設定」 「ハードウェア設定」 「設定確認」 「データ送信」 「完了」

3 . 環境 5 の場合

「ターゲット指定」 「IP アドレス設定」 「TCP/IP 設定」 「LAN Manager 設定」
「SNMP 設定」 「ハードウェア設定」 「設定確認」 「データ送信」 「完了」

4 . 環境 6 の場合

(1) 「NetWare モード設定」でバインダリプリントサーバーモードを指定した時

「ターゲット指定」 「IP アドレス設定」 「TCP/IP 設定」 「LAN Manager 設定」
「NetWare モード設定」 「バインダリプリントサーバー設定」 「SNMP 設定」
「ハードウェア設定」 「設定確認」 「データ送信」 「完了」

(2) 「NetWare モード設定」でリモートプリンターモードを指定した時

「ターゲット指定」 「IP アドレス設定」 「TCP/IP 設定」 「LAN Manager 設定」
「NetWare モード設定」 「リモートプリンター設定」 「AppleTalk 設定」 「SNMP
設定」 「ハードウェア設定」 「設定確認」 「データ送信」 「完了」

(3) 「NetWare モード設定」で NDS プリントサーバーモードを指定した時

「ターゲット指定」 「IP アドレス設定」 「TCP/IP 設定」 「LAN Manager 設定」
「NetWare モード設定」 「NDS プリントサーバー設定」 「SNMP 設定」
「ハードウェア設定」 「設定確認」 「データ送信」 「完了」

5 . 環境 7 の場合

(1) 「NetWare モード設定」でバインダリプリントサーバーモードを指定した時

「ターゲット指定」 「TCP/IP 設定」 「LAN Manager 設定」 「NetWare モード設定」
「バインダリプリントサーバー設定」 「バインダリプリントキュー設定」
「SNMP 設定」 「ハードウェア設定」 「設定確認」 「データ送信」 「完了」

(2) 「NetWare モード設定」でリモートプリンターモードを指定した時

「ターゲット指定」 「TCP/IP 設定」 「LAN Manager 設定」 「NetWare モード設定」
「リモートプリンター設定」 「SNMP 設定」 「ハードウェア設定」 「設定確認」
「データ送信」 「完了」

(3) 「NetWare モード設定」で NDS プリントサーバーモードを指定した時

「ターゲット指定」 「TCP/IP 設定」 「LAN Manager 設定」 「NetWare モード設定」
「NDS プリントサーバー設定」 「SNMP 設定」 「ハードウェア設定」 「設定確認」
「データ送信」 「完了」

6.3.6. 最小セットアップ : TCP/IP 設定のみ

LAN カード・オプションを TCP/IP 設定のみでご使用になられる場合にはこの方法でセットアップを実行してください。

【ご注意】 IP アドレスは同一セグメントを指定してください。

下記に、最小セットアップの場合にどのような設定が行えるかを説明します。
フルセットアップで説明した画面で、どのような遷移をするかを記載します。

1 . IPX/SPX 通信による設定の場合

「ターゲット指定」 「TCP/IP 設定」 「設定確認」 「データ送信」 「完了」

【ご注意】 IP アドレスは同一セグメントを指定してください。

違ったセグメントを設定した場合、通信に失敗し 設定もできません。

2 . TCP/IP 通信による設定の場合

「ターゲット指定」 「IP アドレス設定」 「TCP/IP 設定」 「設定確認」
「データ送信」 「完了」

6.4. IP_SET

IP_SET は TCP/IP の各パラメーターを設定するツールですが、以下の環境で動作します。この時設定用のパソコンにはネットワークドライバーとして TCP/IP プロトコルが組み込まれている必要があります。また Winsock1.1 以上に対応している事が必要です。IP_SET は、LAN カード・オプション付属の「サポート CD」のフォルダ「Utility」 「IPSET.dsk」内に収録されています。

【ご注意】 IP_SET.EXE はルータやゲートウェイを介して LAN カード・オプションの設定を行うことはできません。必ず LAN カード・オプションと同一セグメント内の PC で使用してください。

- 1 Windows3.1 (Winsock1.1 以上に対応した別途 TCP/IP ソフトが必要です)
- 2 Windows95/98
- 3 WindowsNT3.51/NT4.0/2000

LAN カード・オプションの以下の項目設定ができます。

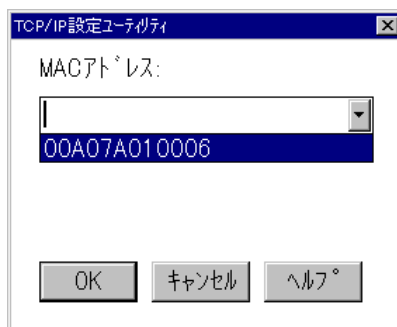
IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定

LANManager の ENABLE/DISABLE 設定 (下位プロトコルの設定 : TCP/IP or NetBEUI、ホスト名、ドメイン名、タイムサーバー名)

DHCP の ENABLE/DISABLE の設定

WINS の ENABLE/DISABLE の設定 (ENABLE 時は、WINS サーバーの IP アドレス)

【ご注意】 Windows3.1 用の TCP/IP ドライバー(ソフト)の中には、Winsock1.1 完全互換ではないものがあります。Winsock1.1 完全互換製品をご利用ください。



LAN カード・オプション本体をネットワークに接続し、電源を投入します。LAN カード・オプション付属の「サポート CD」のフォルダ「LAN カード・オプション」 「UTILITY」 「TCPIP.DSK」の IP_SET.EXE を起動し、IP_SET.EXE を起動し、LAN カード・オプション本体裏面に貼付されているラベルの MAC アドレス「00A07Axxxxxx」をリストから選択または入力します。「OK」ボタンを押す次のウィンドが開き、MAC アドレスで指定した LAN カード・オプションの現在の設定を表示します。

TCP/IP で必要な IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力してください。

LAN カード・オプションの工場出荷時の設定では「LANManager を使用する」のチェックボックスがチェックされています。

【ご注意】ネットワーク上に LAN カード・オプション以外のプリントサーバーが存在する場合には、リストに LAN カード・オプション以外の MAC アドレスが表示されることがあります。
この場合には、LAN カード・オプション本体裏面に貼付されている MAC アドレスを必ずご確認してから設定を行ってください。

LANManager を使用するときには、ホスト名、ドメイン名、タイムサーバー名を入力してください。また、LANManager の下位プロトコルとして、NetBEUI もしくは TCP/IP を選択することができます。（ホスト名を省略すると、デフォルト名がホスト名になります。ドメイン名とタイムサーバー名は、必要に応じて設定してください。）

工場出荷時は WINS を使用しない設定（プロトコルは NetBEUI が default のため）になっていますが、WINS を使用する場合は、「プロトコル」で TCP/IP を選択してから、WINS のチェックボックスにチェックを入れてください。

WINS を使用する場合は、WINS サーバーの IP アドレスを入力します。（DHCP にチェックしてない場合、または DHCP にチェックしてあるが WINS サーバーの IP アドレスが取得できなかった場合）

工場出荷時は LANManager を使用する設定になっていますが、LANManager を使用しない場合はチェックボックスのチェックを外します。

工場出荷時は DHCP を使用しない設定になっていますが、DHCP のチェックボックスがチェックされて

いる場合はチェックを外します。

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力します。

入力する値についてはネットワーク管理者にご相談ください。

「設定」をクリックすると、下図の確認メッセージが表示されますので「OK」をクリックします。



LAN カード・オプションに設定を送信し、変更内容が書き込まれます。設定の書き込みにはしばらく時間がかかります。書き込みが成功すると、次の設定終了の確認メッセージが表示されます。



設定した内容を有効にする為に、LAN カード・オプションの電源を OFF/ON します。

【MEMO】IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスのみの変更に関しては、LAN カード・オプションの電源を入れ直す必要はありません。設定直後に有効になります。

6.5. LPRint for Windows

LPRint for Windows は Microsoft Windows 95/98 で LAN カード・オプションとピア・ツー・ピア印刷を行うためのユーティリティーです。インストールを始める前にプリンタードライバーをインストールされている事を前提とします。プリンタードライバーのインストールの詳細については各プリンターのマニュアルをご覧ください。

【特徴】

Windows 95/98 の標準プリントシステムの一部(ポートモニター)として動作します。

印刷を開始した時に実行され、印刷が終了すると停止します。

印刷先のポート名を自由に設定し、複数の印刷先をわかりやすく整理できます。

異なる複数のプリンターへ同時に印刷することもできます。

プリンターの状態をモニターできます。

【概要】

- 1) LPRint for Windows のインストール 「6.5.1.」参照
- 2) ポートの設定 「6.5.2.」参照
 - 2.1) ポートの設定を LPRint for Windows セットアッププログラムで行う場合 「6.5.2.1」参照
 - 2.2) ポートの設定をプリンターのプロパティの詳細画面で行う場合 「6.5.2.2」参照
- 3) ポートの詳細設定 「6.5.3.」参照
- 4) ポートの変更 「6.5.4.」参照
- 5) ポートの削除 「6.5.5.」参照
- 6) 印刷のモニターおよび印刷の中止 「6.5.6.」参照
- 7) LPRint for Windows のアンインストール 「6.5.8.」参照
- 8) トラブルシューティング 「6.5.9.」参照

6.5.1. LPRint for Windows のインストール

【ご注意】LPRint for Windows のインストールは他のアプリケーションをすべて終了してから行ってください。

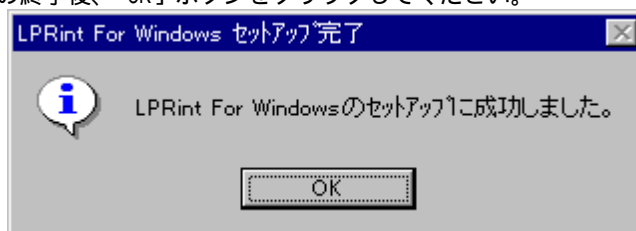
- 1) LPRint for Windows のインストールは付属の「サポート CD」をドライブに挿入します。
- 2) スタートメニューの「ファイル名を指定して実行」を選択し、参照ボタンで「Utility」「LPRintForWindows」「program.dsk」フォルダ内の **Setup.exe** を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。



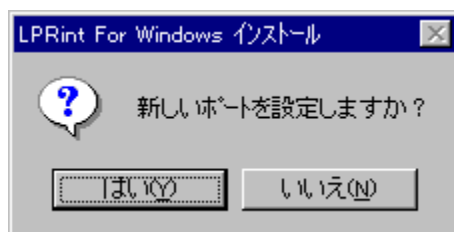
- 3) LPRint for Windows のセットアッププログラムが起動したら、「インストール」ボタンをクリックします。
- 4) インストールを開始するには「はい(Y)」ボタンをクリックしてください。
ファイルコピーがはじまります。



- 5) ファイルコピーの終了後、「OK」ボタンをクリックしてください。



- 6) セットアップ完了後、新規にLPRint for Windows ポートを設定することができます。
通常は「はい(Y)」をクリックしてください。 設定方法については「7.7.2.1. ポートの設定をLPRint for Windows セットアッププログラムで行う場合」をご覧ください。
ここでポートを設定しない場合は「いいえ(N)」をクリックしてください。 この場合は「6.5.2.1. ポートの設定をプリンタのプロパティの詳細画面で行う場合」をご覧ください。



【ご注意】「いいえ(N)」をクリックした場合は「LPrint for Windows のセットアップ」ダイアログボックスの「終了」ボタンをクリックしてから、Windows 95/98 の再起動を行ってください。

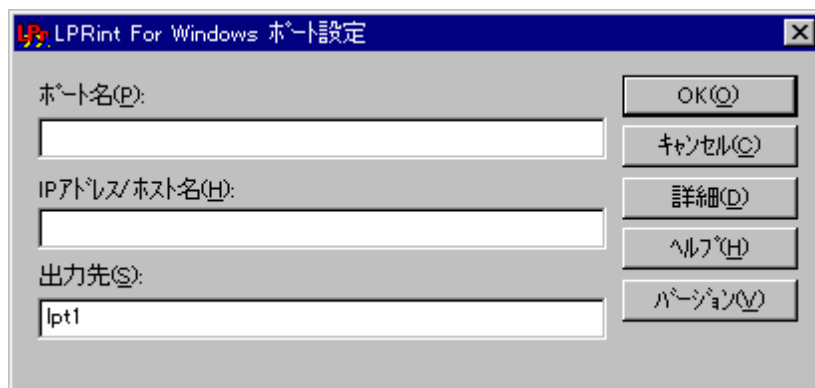
6.5.2. ポートの設定

Windows 95/98 ではプリンターのプロパティの詳細画面で「印刷先のポート」に LPrint for Windows のポートを設定する必要があります。

6.5.2.1. ポートの設定を LPrint for Windows セットアッププログラムで行う場合

LPrint for Windows セットアッププログラムで新しいポートを設定します。

- 1) 「6.5.1.6)」からの続きとなります。「新しいポートを設定しますか?」の画面が表示されていることを確認してください。
- 2) 「はい(Y)」をクリックすると次の「LPrint for Windows ポート設定」ダイアログボックスが表示されますので、ポートを設定します。



- 3) 「ポート名」、「IP アドレス/ホスト名」、「出力先」の各項目を入力してください。

a) ポート名:

任意の名前を入力してください。

ただし、プリンターのプロパティの詳細画面で「印刷先のポート」で設定済みのポート名と同じ名前は使用しないでください。また以下の半角記号は使用しないでください。

スペース " | "/" | "¥" | "&" | ":" | "="

b) IP アドレス / ホスト名:

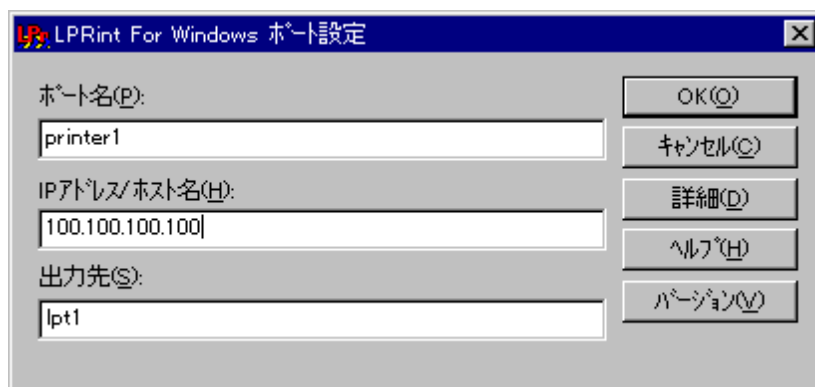
LAN カードオプションの IP アドレスを入力してください。

c) 出力先:

lpt1 を入力してください。

なお、「詳細」の内容については「6.5.3. ポートの詳細設定」をご覧ください。また、「ヘルプ」、「バージョン」については「6.5.6. 印刷のモニターおよび印刷の中止」をご覧ください。

例) LAN カード・オプションの IP アドレスが「100.100.100.100」の場合。

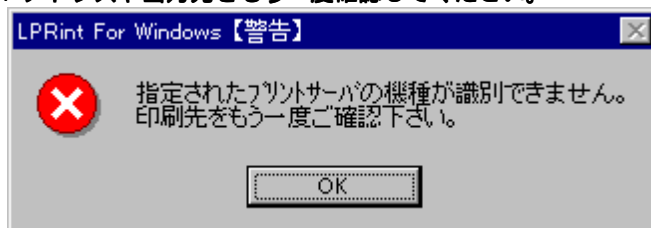


4) 各項目の設定が完了したら「OK」ボタンをクリックしてください。

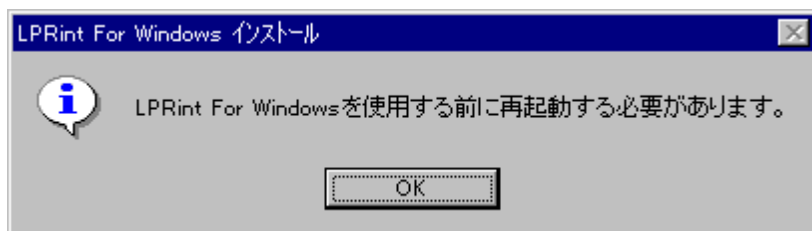
【ご注意】「OK」を押して「LPrint for Windows【警告】」ダイアログが Windows 95/98 画面上に表示される場合、以下が考えられます。

LAN カードオプションの IP アドレスは設定されているが、「LPrint for Windows ポート設定」ダイアログボックス内の「IP アドレス/ホスト名」や「出力先」が間違えて入力されている場合。

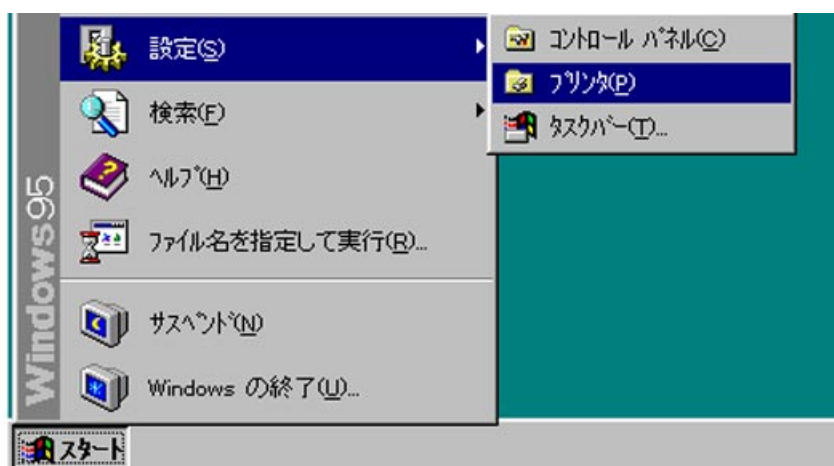
IP アドレスや出力先をもう一度確認してください。



【ご注意】この手順ではインストールの続きからポート設定をしています。「LPrint for Windows ポート設定」の各項目の設定が終わり次第、下図が表示されるので「OK」をクリックした後、LPrint for Windowsのセットアップ」ダイアログボックスの「終了」ボタンをクリックし、Windows 95/98を再起動してください。



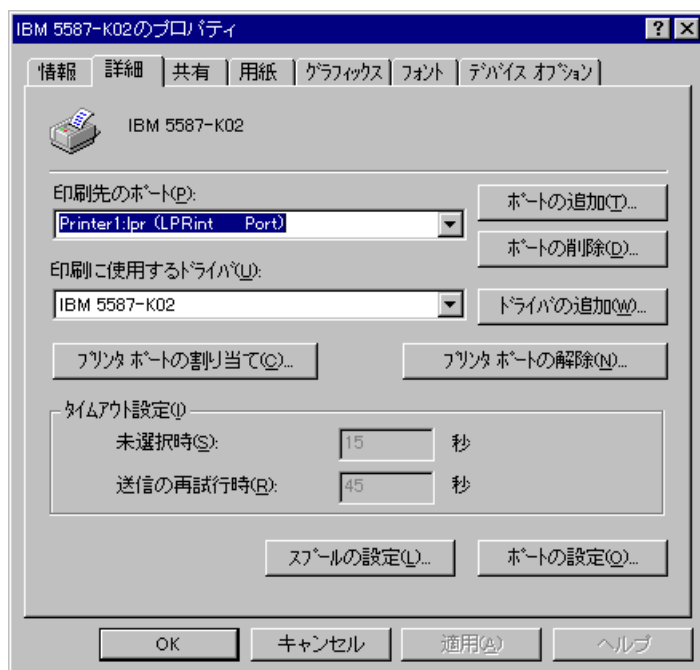
5) スタートメニューから「設定」、「プリンタ」を選択してください。



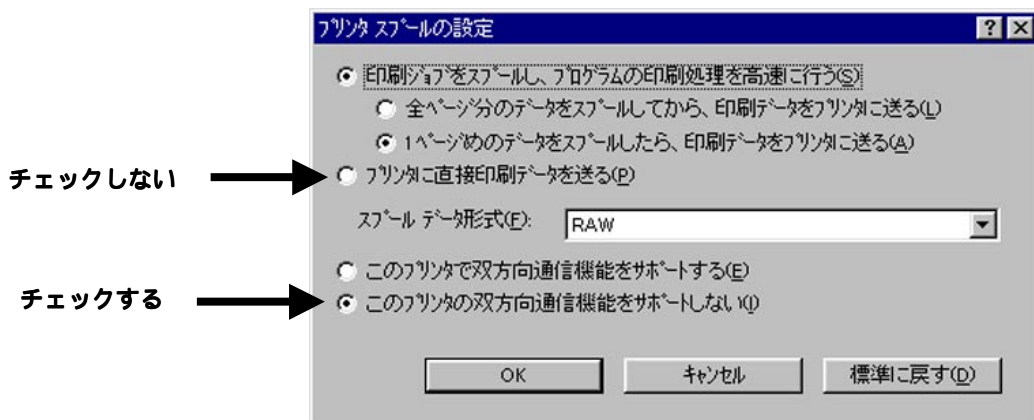
6) 「プリンタ」ウィンドウから LPrint for Windows で出力したいプリンターを選択し、右クリック 「プロパティ」を選択してください。



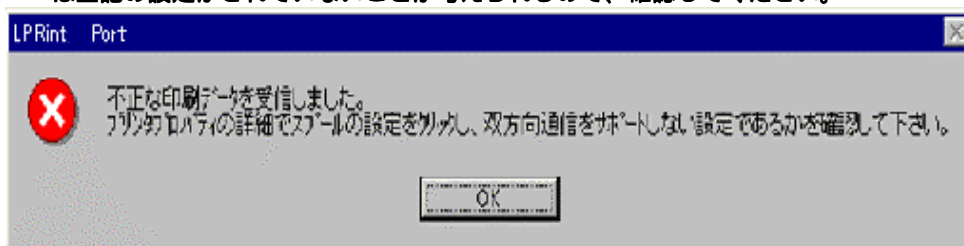
- 7) 「プロパティ」画面が表示されたら「詳細」タブをクリックし、先ほど設定した LPrint for Windows のポートを「印刷先のポート」で選択してください。



- 8) 「スプールの設定」ボタンをクリックしてください。以下の画面で「プリンタに直接印刷データを送る」にはチェックしないでください。また、「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」が選択できる場合は、ここにチェックしてください。双方向をサポートしていないドライバーでは、グレー表示になり選択できません。



【ご注意】印刷時に LPRint for Windows が起動しない場合、もしくは次のエラーが表示される場合は上記の設定がされていないことが考えられるので、確認してください。



9) 「スプールの設定」ができれば「適用」ボタンをクリックしてください。ポートの設定はこれで終了です。

10) 「情報」タブをクリックし、「印字テスト」ボタンを押し、印刷を確認してください。

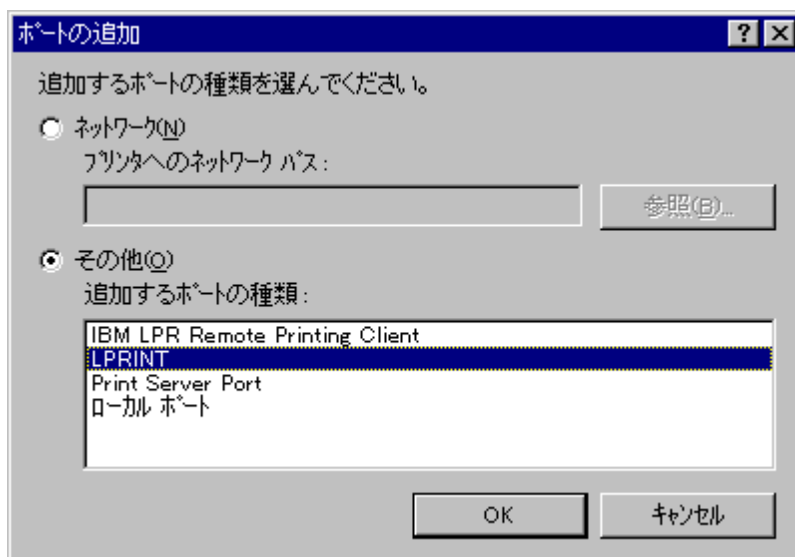
6.5.2.2. ポートの設定をプリンターのプロパティの詳細画面で行う

LPRint for Windows のインストール時にポートを設定していない場合でも、プリンターのプロパティの詳細画面からポートを追加もしくは設定変更することができます。

- 1) プリンターのプロパティの詳細画面を開いてください。「6.5.2.1.7)」をご覧ください。
- 2) 「ポートの追加」ボタンをクリックしてください。
- 3) 「ポートの追加」画面が表示されたら「その他」のラジオボタンをチェックし、「追加するポートの種類」のリストから「LPRint for Windows」を選択し「OK」ボタンをクリックしてください。

【ご注意】LPRint for Windows が表示されていない場合は Windows 95/98 を再起動してください。

- 4) 「OK」ボタンをクリックすると「LPRint for Windows ポート設定」ダイアログボックスが表示されます。設定方法は「6.5.2.1.3)」をご覧ください。

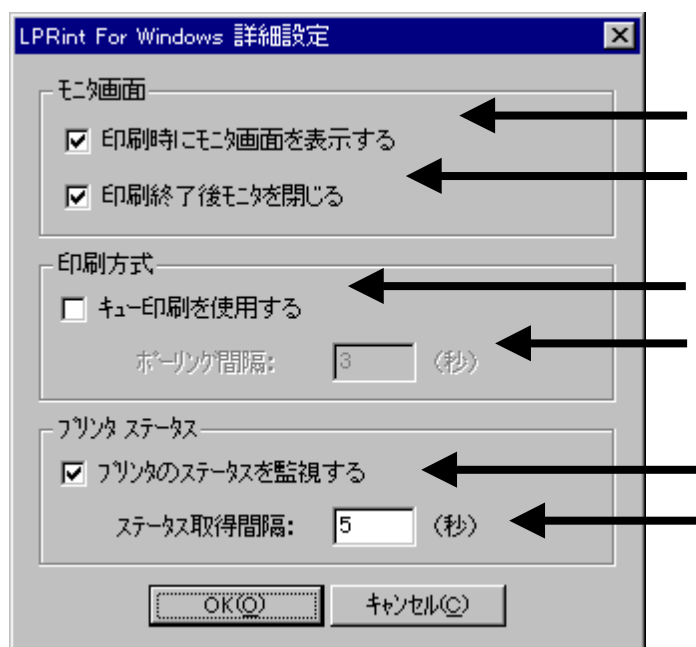


- 5) 「LPRint for Windows ポートの設定」ダイアログボックスの各項目の入力が完了し、「OK」ボタンをクリックした後、プリンターのプロパティの詳細画面の「スプールの設定」ボタンをクリックしてください。「6.5.2.1.8)」をご覧ください。
- 6) プリンターのプロパティの詳細画面に戻ったら「適用」ボタンをクリックしてください。
- 7) 「情報」タブをクリックし、「印字テスト」ボタンを押し、印刷を確認してください。

6.5.3. ポートの詳細設定



「LPRint for Windows ポート設定」ダイアログボックスの「詳細」ボタンをクリックすると次の「LPRint for Windows 詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。



印刷時にモニター画面を表示する

印刷状況を表示します。

印刷終了後にモニターを閉じる

印刷終了後、自動的にモニターを閉じます。

キュー印刷をする

[チェックしない場合]

複数のプリンターへの同時印刷時には、複数のモニターが起動し、各プリンターへ同時に送信します。なお、上記の動作中タスクトレイには複数の LPRint for Windows アイコンが表示されます。この結果、複数のプリンターへの同時送信が可能なので、[チェックした場合]よりも早く印刷を終了することができます。この場合、次のように表示されます。

例) 3台のプリンターへ同時印刷した場合



[チェックした場合]

複数のプリンターへの同時印刷時にも一つのモニターのみ起動し、一つ目のジョブが終了次第、次のジョブの送信を開始します。

例) 3台のプリンターへ同時印刷した場合



ポーリング間隔

“キュー印刷を使用する”にチェックした場合のみ有効となります。

設定可能な範囲は「3～60」(秒)です。

プリンターのステータスを監視する

チェックすると、モニター画面にプリンターの状態を表示します。

表示内容は「6.5.6.印刷のモニターおよび印刷の中止」をご覧ください。

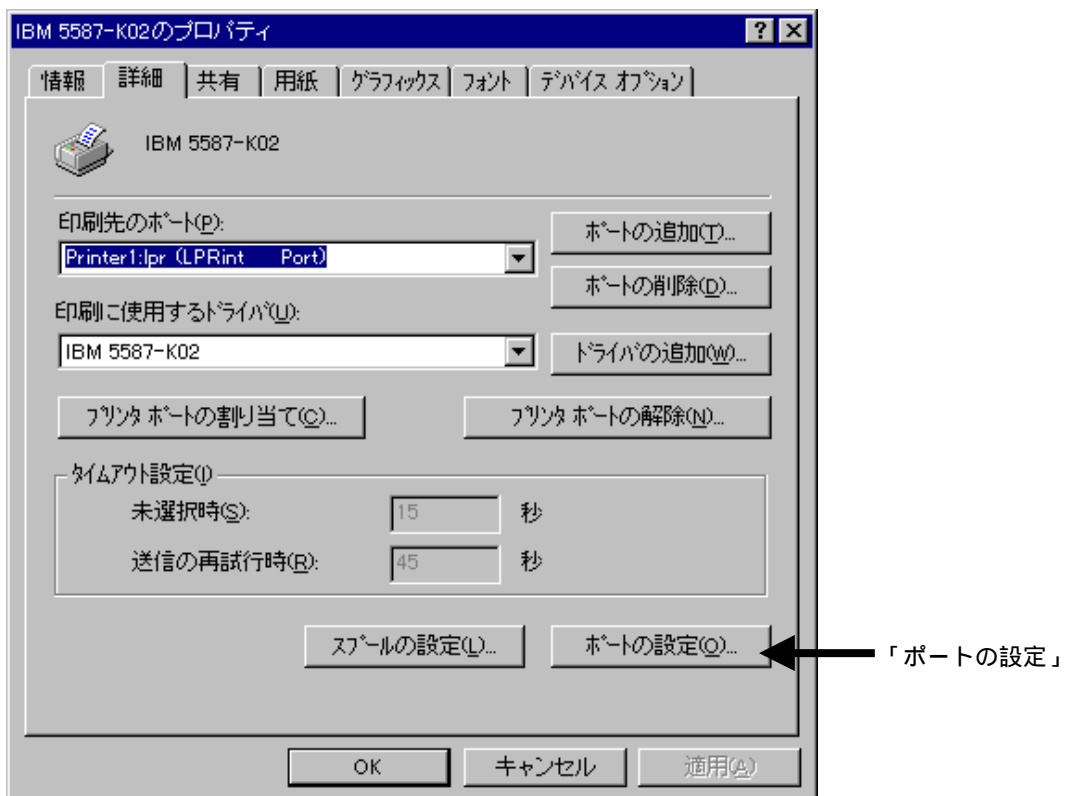
ステータス取得間隔

“プリンタのステータスを監視する”をチェックした場合のみ有効となります。

設定値の間隔で、プリンターの状態を監視します。設定範囲は「5～60」(秒)です。

6.5.4. ポートの変更

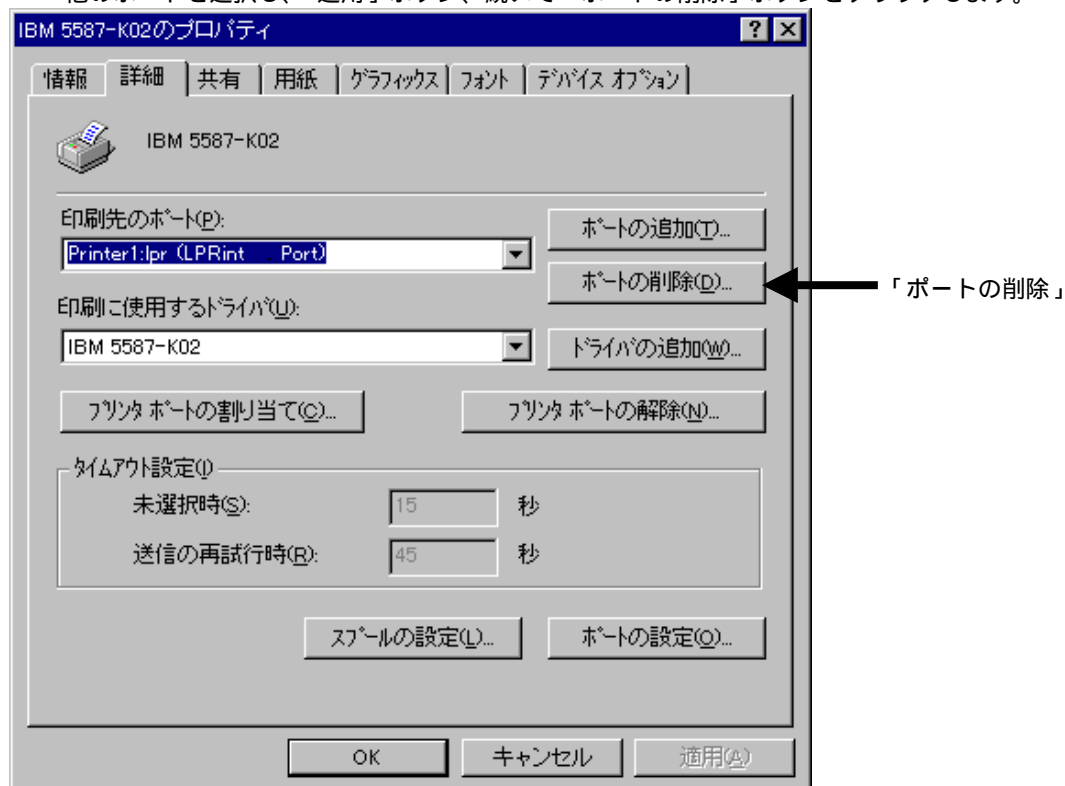
設定済みのポートの値を変更する場合は、スタートボタンから「設定」、「プリンタ」 変更するプリンターの「プロパティー」、「詳細」タブの「ポートの設定」ボタンをクリックして「LPRint for Windows ポート設定」ダイアログボックスでポートの項目変更を行ってください。(ポートの項目内容については「6.5.2.1.3)」をご覧ください)



6.5.5. ポートの削除


- 1) 「プリンタ」ウィンドウから LPRint for Windows で作成したポートを使用しているプリンターを選択し、右クリック 「プロパティー」を選択します。
- 2) 「プロパティー」画面が表示されたら、「詳細」タブをクリックします。「印刷先のポート」から

他のポートを選択し、「適用」ボタン、続いて「ポートの削除」ボタンをクリックします。



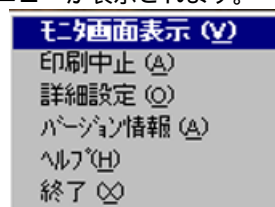
3) 「ポートの削除」画面が表示されたら削除するポートを選んで「OK」ボタンをクリックします。

6.5.6. 印刷のモニターおよび印刷の中止

印刷中タスクトレイに  このアイコンが表示されます。

このアイコンが出ている間はモニター中です。

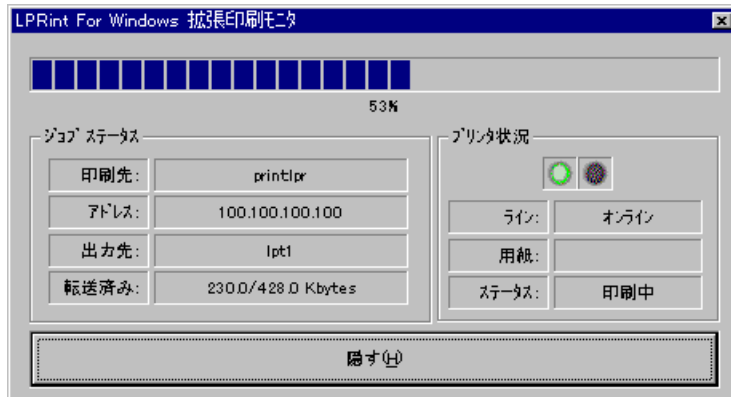
上のアイコンを右クリックするとメニューが表示されます。



1) モニター画面表示

選択するとモニター画面が表示されます。

モニター画面にはジョブのステータスや、プリンターの状況などが表示されます。



「6.5.3.」のポートの詳細設定で「プリンタのステータスを監視する」をチェックしている場合のみ、信号の表示、オンライン/オフライン、用紙の各項目が表示されます。

【ご注意】ECP/Nibbleモードで印刷している場合は、ライン情報/紙切れ情報は取得できません。

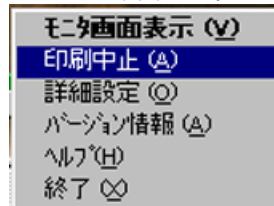
「隠す」ボタンを押すとモニター画面を消すことができます。

メニューの詳細設定で「印刷時にモニター画面を表示する」をチェックしている場合も印刷時にポップアップします。

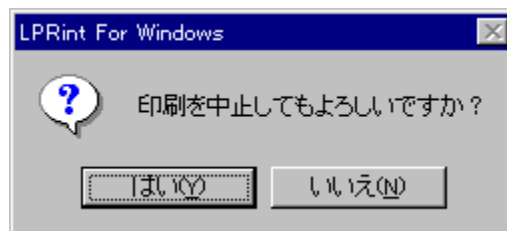
2) 印刷中止

印刷中のジョブを破棄し印刷を中止することができます。

- a) 印刷中に上のアイコンを右クリックすると下図のように表示されます。

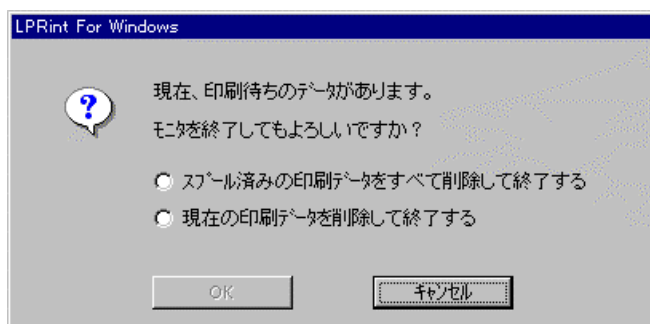


- b) 「印刷中止」を選択すると下図が表示されます。



印刷ジョブが複数スプールされている場合は、下図が表示されます。

すべての印刷データを削除するか、現在の印刷データを削除するか選択できます。

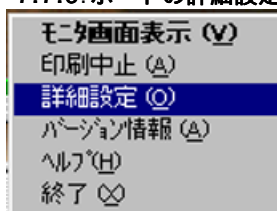


- c) 「はい」「OK」ボタンをクリックすると現在実行中の印刷が中止します。キューの中にまだ送信されていない印刷ジョブがある場合は、次の印刷ジョブの送信が始まります。

【ご注意】送信済みのデータは破棄されません。

3) 詳細設定

詳細設定画面を表示します。「7.7.3. ポートの詳細設定」をご覧ください。



4) バージョン情報

LPRint for Windows のバージョンを表示します。

(「6.5.1.LPRint for Windows のインストール」の LPRint for Windows のセットアッププログラム起動時に表示される以下のボタンをクリックすることからもバージョンを確認することができます。)



5) ヘルプ

ヘルプを表示します。

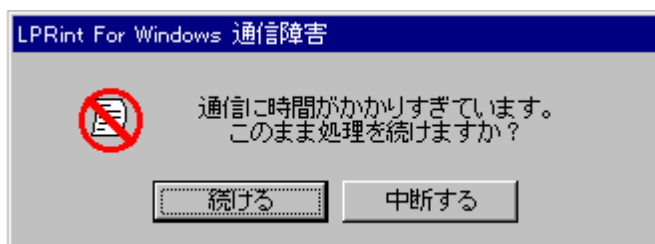
6) 終了

LPRint for Windows を終了します。

また印刷中のジョブは破棄され、印刷は中止されます。

キュー内にまだ送信されていない印刷ジョブがある場合は、次回起動時に送信されます。

【ご注意】印刷を実行しスプールしている途中でモニター画面がオフライン状態になった場合、しばらくすると下図の「LPRint for Windows 通信障害」画面が表示されます。



「続ける」ボタンをクリックするとこのまま印刷を続けます。クリックする前にもう一度オンライン状態であるかを確認してください。

「中断する」ボタンをクリックすると印刷を中断します。

6.5.7. LPRint for Windows のアンインストール

LPRint for Windows のアンインストールを行います。

ただし、LPRint for Windows が起動している場合は行えませんので LPRint for Windows を予め終了してください。

- 1) 「6.5.1.」の LPRint for Windows のセットアッププログラム起動時に表示される「削除」ボタンをクリックします。
- 2) LPRint for Windows のアンインストールプログラムが起動したら画面の内容に従って操作をしてください。

6.5.8. トラブルシューティング

1. 「通信に失敗しました。」画面が表示される。

以下の点が原因で表示されます。

LAN カードオプション本体の電源が OFF になっている

ネットワークケーブルが接続されていない

この場合、モニター画面はオフライン状態となります。 モニター画面については「6.5.6.1)」をご覧ください。



「通信に失敗しました。」画面の「OK」ボタンをクリックすると次のエラー画面が表示されます。

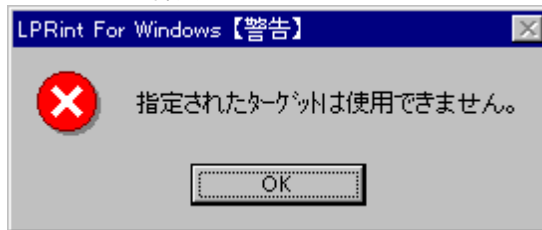
2. 「指定されたターゲットは使用できません。」画面が表示される。

以下の点が原因で表示されます。

Windows 95/98 上のネットワークコンピューターの「プロパティ」に「TCP/IP」プロトコルが追加されていない

Windows 95/98 上のネットワークコンピューターの「プロパティ」で「IPアドレスを指定」にチェックされていない

パソコンにネットワークカードが挿入されていない



「OK」ボタンをクリックした後、もう一度、LAN カードオプションが ON になっているか、LAN カードオプションに通信できるかなど上記の点を確認して訂正してから印刷をしてください。

3. 特定のアプリケーションから印刷できない。

ポート名に使用できない特殊文字を入力している可能性があります。ポート名に英数字のみを入力してください。